

津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

図 面 リ ス ト					
機 械 設 備			電 気 設 備		
図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
M - 01	特記仕様書 1	—	E - 01	特記仕様書 1	—
M - 02	特記仕様書 2	—	E - 02	特記仕様書 2	—
M - 03	付近見取図・配置図	S=1/400	E - 03	特記仕様書 3	—
M - 04	空調設備 1階平面図(改修前)	S=1/150	E - 04	受変電設備 単線結線図(改修前・改修後)	—
M - 05	空調設備 2階平面図(改修前)	S=1/150	E - 05	電気設備 1階平面図(改修後)	S=1/150
M - 06	空調設備 屋上平面図(改修前)	S=1/150	E - 06	電気設備 2階平面図(改修後)	S=1/150
M - 07	空調設備 1階平面詳細図(改修前)	S=1/50	E - 07	電気設備 屋上平面図(改修後)	S=1/150
M - 08	空調設備 1階平面図(改修後)	S=1/150	E - 08	電気設備 1階平面図(改修前)	S=1/150
M - 09	空調設備 2階平面図(改修後)	S=1/150	E - 09	電気設備 2階平面図(改修前)	S=1/150
M - 10	空調設備 屋上平面図(改修後)	S=1/150	E - 10	電気設備 屋上平面図(改修前)	S=1/150
M - 11	空調設備 1階平面詳細図(改修後)	S=1/50			
M - 12	空調自動制御設備 1階平面図(改修後)	S=1/150			
M - 13	空調自動制御設備 2階平面図(改修後)	S=1/150			
M - 14	1階仮設計図面	S=1/150			
M - 15	2階仮設計図面	S=1/150			
M - 16	屋上平面図(改修前・改修後)	S=1/150			
M - 17	屋上平面詳細図(改修後)	S=1/50			
M - 18	1階天井伏図(改修前・改修後)	S=1/150			
M - 19	2階天井伏図(改修前・改修後)	S=1/150			

山本一級建築士事務所

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	-	2m以下 3m以下
ビニル管	80A以下 100A以上	-	1m以下 2m以下
耐火二層管 鋼管			1.5m以下
鉛管			標準図による

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鋼管			
ビニル管			
耐火二層管	25A~40A	50A~100A	125A~
鋼管			

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト ■ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC, SGCCA) 鍍金付着Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 ■ アングルフランジ工法
□ 共板フランジ工法
□ スライドオフフランジ工法
形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト □ スパイラルダクト
□ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多温箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K
(屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
□ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 給湯管 □ 温水管
□ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 □ 冷媒管 □
(屋外等)
□ 給湯管 □ 温水管 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管
□ 冷媒管 □ 冷媒管 □ 冷媒管 □ 冷媒管 □
- ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブランクネット
(防火区画貫通部等) 1号 JIS A 9504
□ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 給湯管 □ 温水管
□ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 □ 冷媒管 □ 消火管
- ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号
(屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号
□ 給水管 □ 排水管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷水管 (2~4℃)
□ プライン管 □ プライン管 □ □ □
(屋外等)
□ 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 冷水・冷温水管
□ プライン管 □ 消火管 □ □ □
- 調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種
(露出)
□ 給水管 □ 排水管 □ 通気管 □ ドレン管
□ ガス管 □ 消火管 □ 油管 □ 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	~25A	-	~20A	25A~100A	125A~
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール))
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンパー、貯湯タンク類(冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー、排気筒隠蔽部(ロックウール))	
75mm	煙導 (ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7Aシグ'ラック仕上
天井内・P S内	7Aシグ'ラック仕上	アルミガラスクロス化粧テープ		
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7Aシグ'ラック仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ピット内)の仕様を防水テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法、架構ポリエチレン・ポリブテン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	# 31Fの/4K	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	# 31Fの/4K	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	# 31Fの/4K	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	# 31Fの/4K	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	# 31Fの/4K	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 □ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー鉄板(屋内)
温水・膨張・運水					
貯湯タンク					
温水・蒸気ヘッダ	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	カラー鉄板(屋内)
熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス化粧テープ	
	屋内隠蔽、D S内	紙	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス化粧テープ	
	屋外露出、多温箇所	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温筒	鉄線	カラー鉄板
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス化粧テープ		
	屋内隠蔽、多温箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス化粧テープ		
	屋外露出、多温箇所	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
サブライチャンパー	清音チャンパー、エルボ	紙	保温板	ガラスクロス	銅電甲金網
	排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス化粧テープ
	排煙ダクト 円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス化粧テープ	カラー鉄板
	煙道	フランジ付	紙	保温板	カラー鉄板

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランジは、JIS G 3554 (電甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅電甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. EA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
3. RA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. OA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
チャンパー内貼施工 □ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()

(4) スリーブ工事

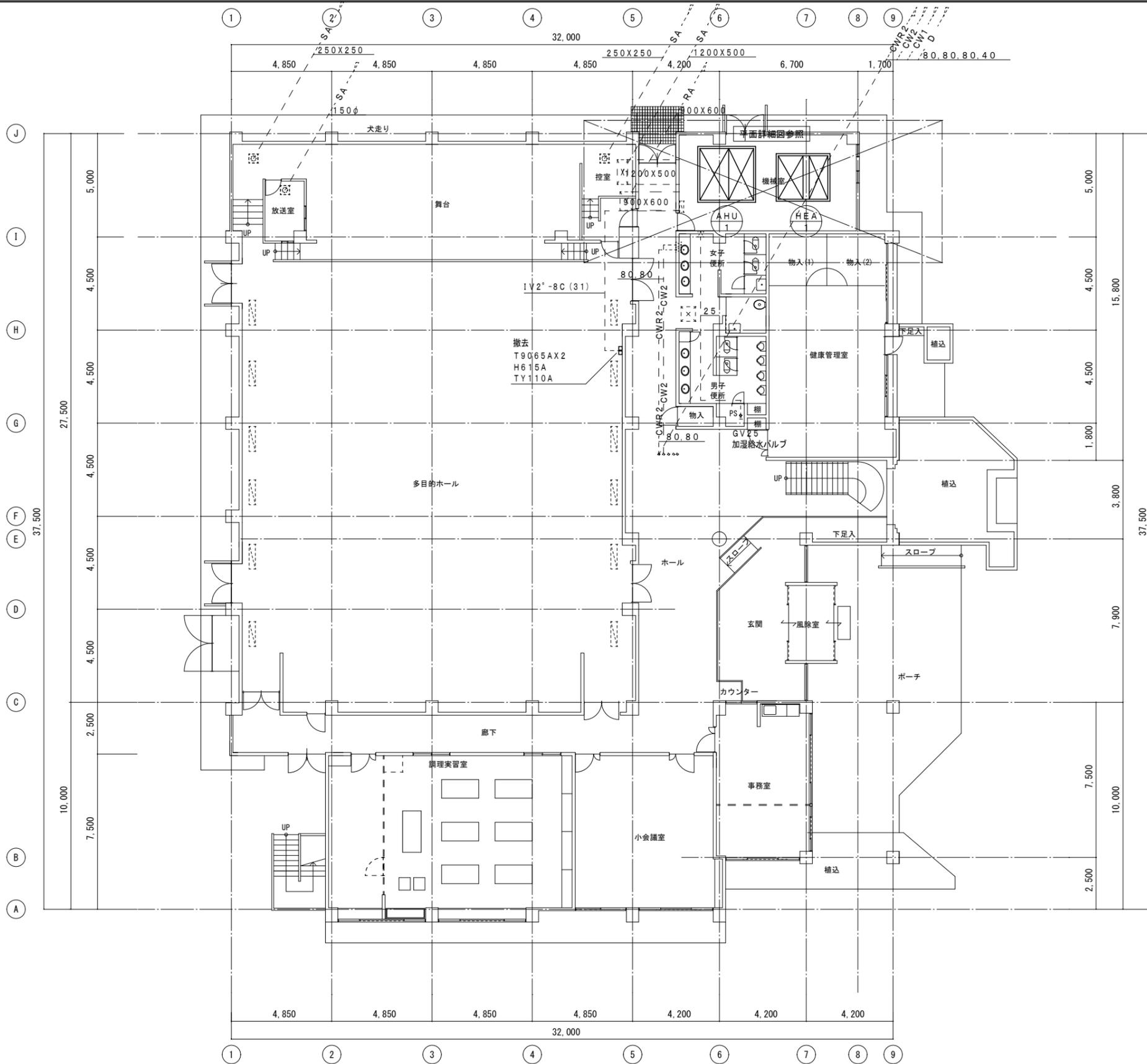
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚を含む)より40mm程度大(=2サイズUP)なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト)とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ポイドとする。紙ポイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の対応策を講ずること。
 - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒筋を使用すること。
- 屋外露出及び多温箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場外自由処分とすること。

※ 特記事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 現場作業着手までの敷地内調査は、事前に施設関係者及び市監督員の承諾を得るものとし、行事に影響を与えない範囲とする。
※ 工事作業については、工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
※ 工事の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 火災が発生する作業や溶接作業等を行う場合は、火災の取扱いに十分注意するとともに、適切な消火設備、防災シート等を設けるなど、火災の防止措置を講ずる。
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ 安全対策として、作業範囲にはコーン等を設置すること。
※ 側溝、柵等は車両通行時に破損しないよう、鉄板敷き等で養生すること。
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき、関係機関への届出打合せの上、作業に着手することとし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中止し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承諾を得てから行うこと。
※ 工事着手前には、現況状況把握のために破損箇所があれば、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、工事受注者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告をすること。
※ 本工事の現場施工にあたっては施設運営に支障のないようにすること。
※ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事にも含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
※ 多目的ホール内における工事作業期間は9月10日から10月31日までとすること。

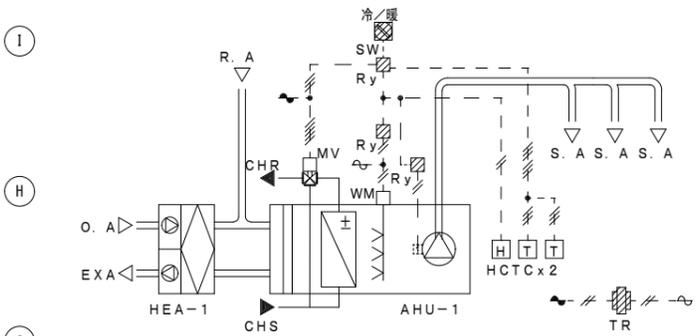


1階平面図 S=1/150

自動制御機器

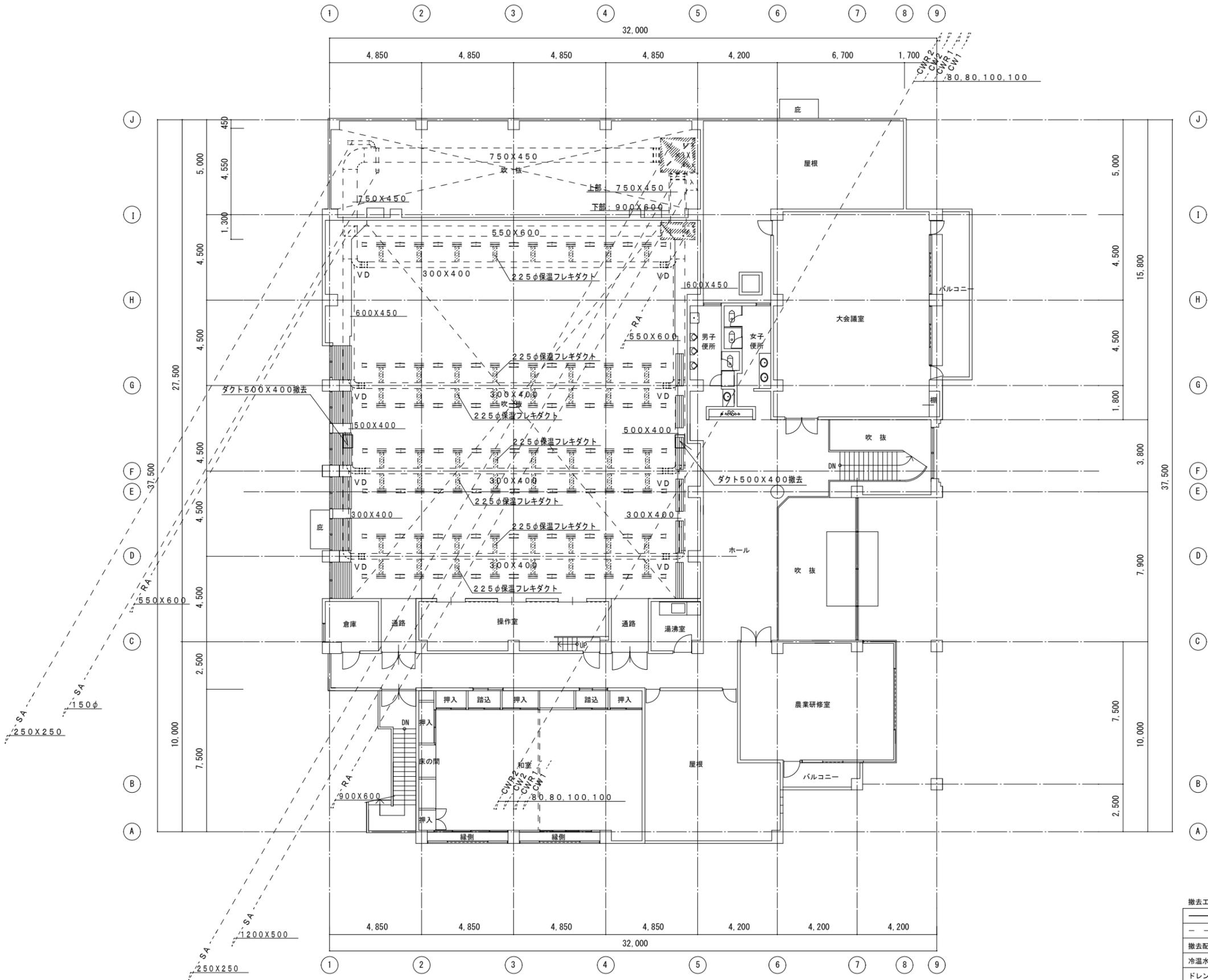
記号	名称	形番	備考
TC	室内用温度調節器	T9065A	比例 0~135Ω
HC	室内用湿度調節器	H615A	二位置
	サーモプレート	TY110A	

<制御内容>
 ・室内温度により冷温水三方弁の比例制御を行う。
 ・室内湿度により加湿器の二位置制御制御を行う。



撤去工事凡例：処分共

—	今回撤去工事を示す。
- - -	既設を示す。
撤去配管リスト (保温共)	
冷温水管 (往・還)	配管用炭素鋼管 (白)
ドレン管	配管用炭素鋼管 (白)
給水管	硬質塩ビライニング鋼管
ダクト	亜鉛鉄板ダクト



撤去工事凡例：処分共

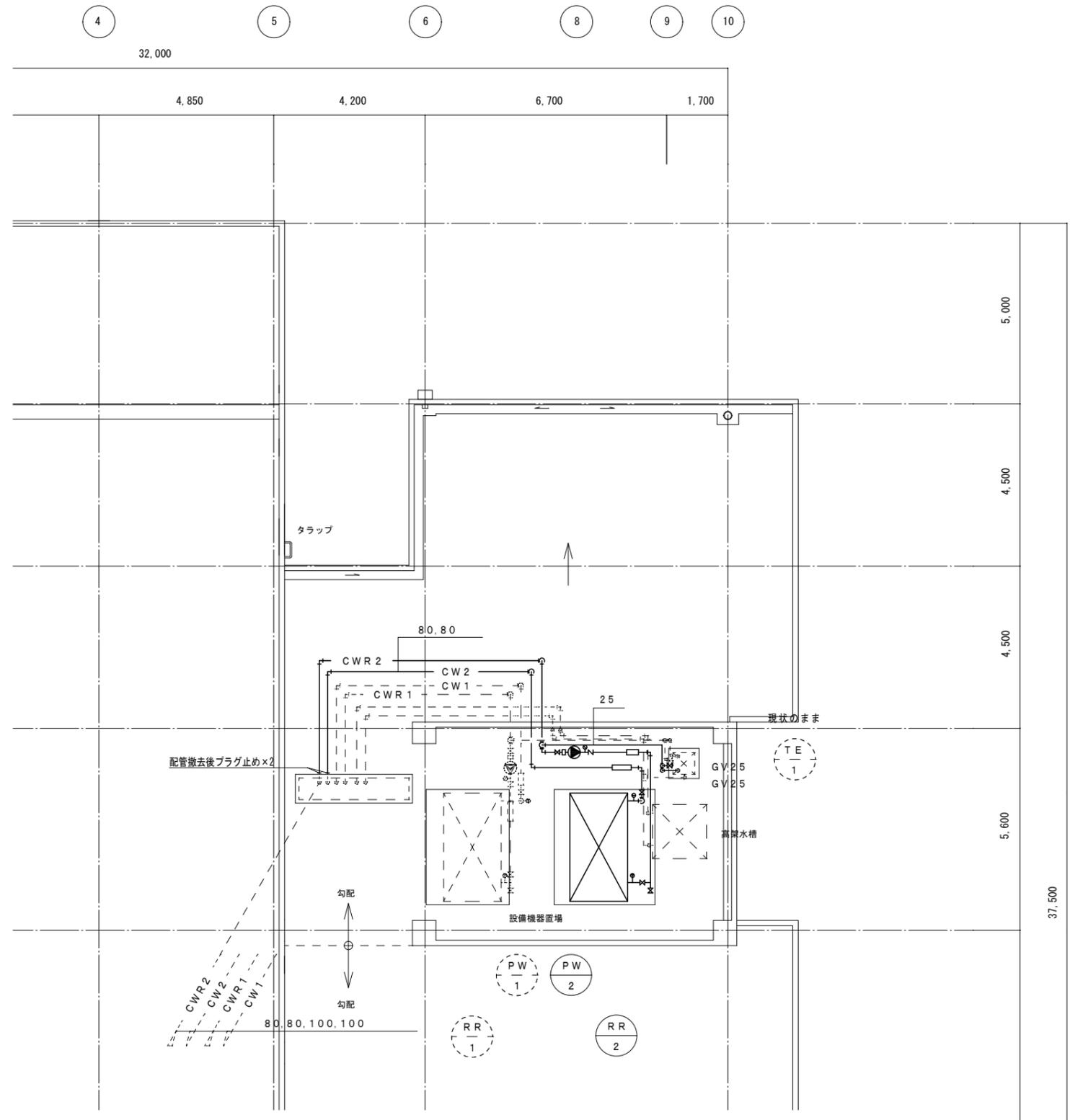
—	今回撤去工事を示す。
- - -	既設を示す。
撤去配管リスト（保温共）	
冷温水管（往・還）	配管用炭素鋼管（白）
ドレン管	配管用炭素鋼管（白）
給水管	硬質塩ビライニング鋼管
ダクト	亜鉛鉄板ダクト

2階平面図 S=1/150

TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事	DRAWING TITLE 空調設備 2階平面図(改修前)	SCALE 1/150	一級建築士事務所 三重県登録第1-753号 山本一級建築士事務所 三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779 三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397	設計者 一級建築士 第317991号 山本 亮康	No. M-05
				原因:A2	

空調機器撤去

RR-2	空冷ヒートポンプ式チリングユニット CAH-40F	1
	冷水: 22.4m ³ /H (373.4L/min)	
	入口12℃, 出口7℃	
	温水: 19.6m ³ /H (326.7L/min)	
	入口45℃, 出口50℃	
	冷却能力: 113000Kcal/H (外気35℃)	
	暖房能力: 98000Kcal/H (外気0℃, 50%RH)	
	冷媒ガス R22: 38Kg	
	圧縮機: 4P 30kW (3φ200V Δ-Δ)	
	送風機: 4P 1.5kW X 2 (3φ200V)	
	付属品: 防振架台 他	
PW-2	循環ポンプ	1
	ラインポンプ (屋外設置)	
	65φ X 380L/min X 2.5mAq X 3.7kW (3φ200V)	



RR-2: チリングユニット 配管仕様

冷温水往管	80A	温度計, GV80 (5K)
		GV20A (5K): 20A 空気抜弁
		FJ: 80 X 800 L (SUS)
		25A 安全弁
冷温水還管	80A	温度計, GV80 (5K)
		GV25 (5K) 水抜き

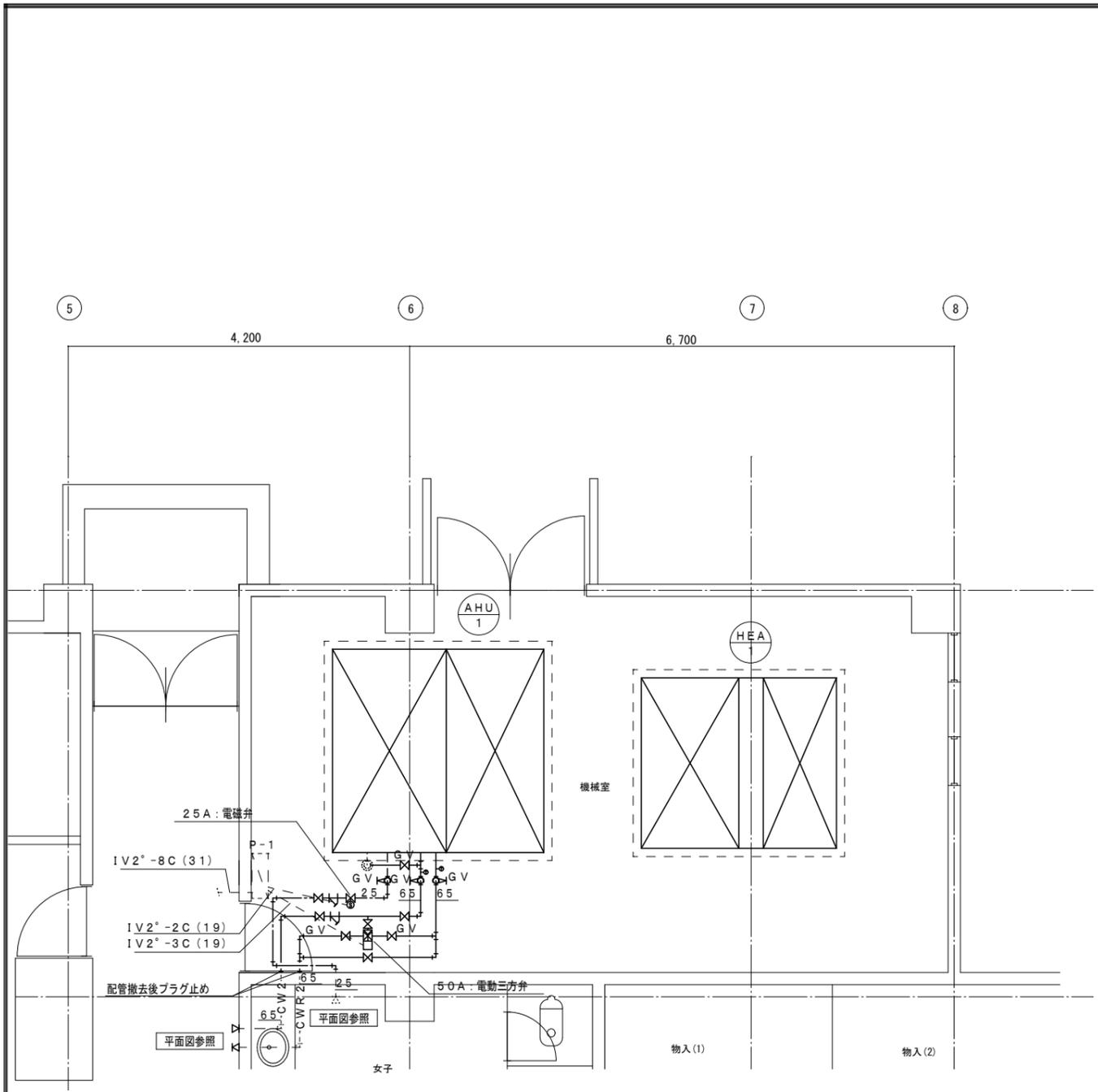
PW-2: 冷温水循環ポンプ 配管仕様

吐出管	65A	圧力計, CV80 (10K)
		防振継手
吸込管	65A	圧力計, GV80 (5K)
		防振継手

撤去工事凡例: 処分共

— — —	今回撤去工事を示す。
— — —	既設を示す。
撤去配管リスト (保温共)	
冷温水管 (往・還):	配管用炭素鋼管 (白)
ドレン管:	配管用炭素鋼管 (白)
給水管:	硬質塩ビライニング鋼管
ダクト:	亜鉛鉄板ダクト

屋上平面詳細図 S=1/100



AHU-1: 空気調和機 撤去配管仕様

冷温水入口	65A	GV25A (5K): エアー抜き
		温度計
冷温水出口	65A	50A電動三方弁装置 (バイパス付)
		GV25A (5K): エアー抜き
		GV25A (5K): 水抜き
		圧力計, 温度計
加湿給水	25A	25A電磁弁装置

現状のまま

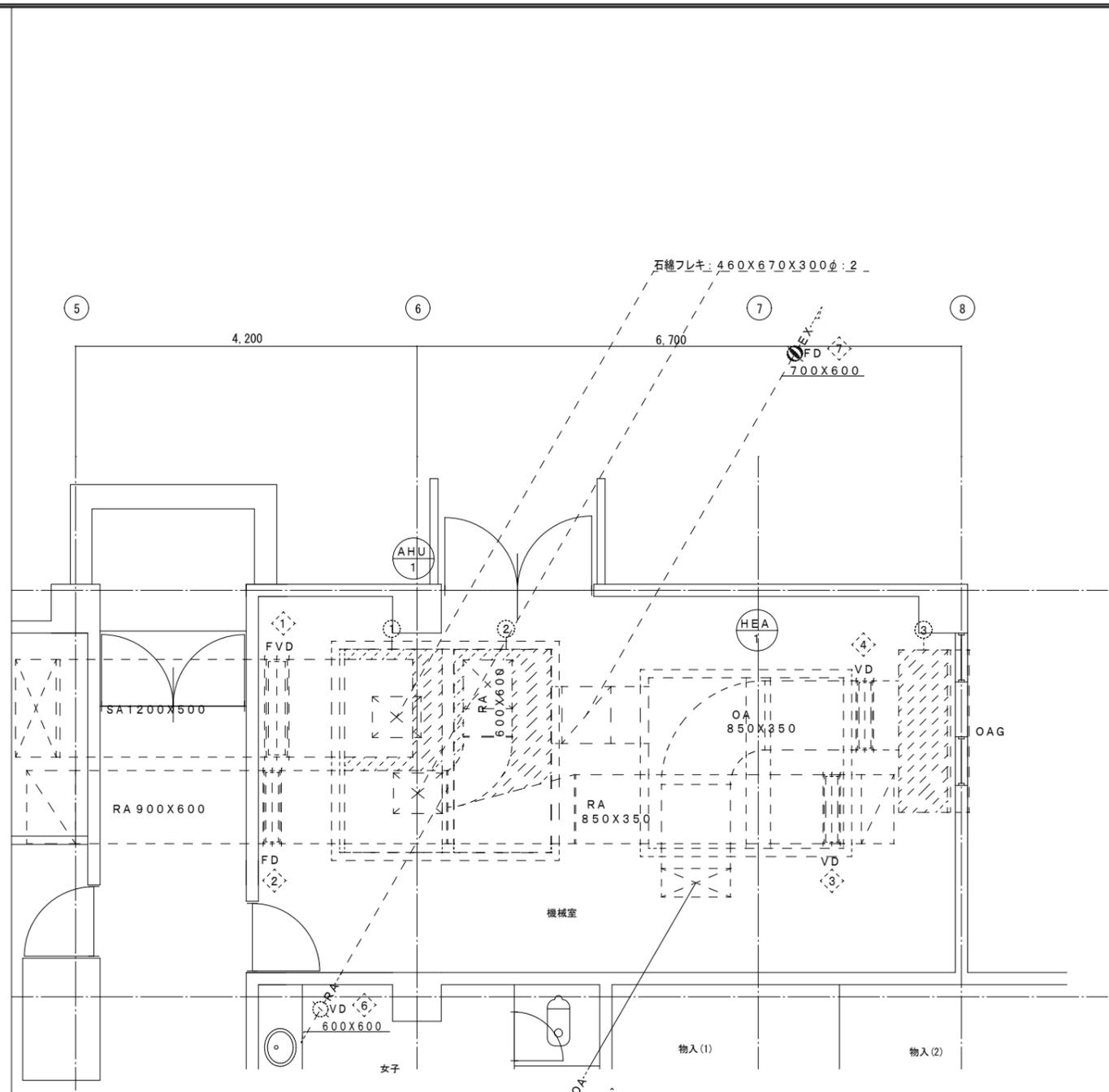
ドレン管	40A	排水トラップ
自動制御盤		P-1

撤去工事凡例: 処分共

———	今回撤去工事を示す。
- - -	既設を示す。

撤去配管リスト (保温共)

冷温水管 (往・還): 配管用炭素鋼鋼管 (白)
ドレン管: 配管用炭素鋼鋼管 (白)
給水管: 硬質塩ビライニング鋼管



消音チャンパー: 現状のまま

①	2500X1200X600	GW50t内貼
②	2500X1200X1500	GW25t内貼
③	2000X600X1500	GW25t内貼

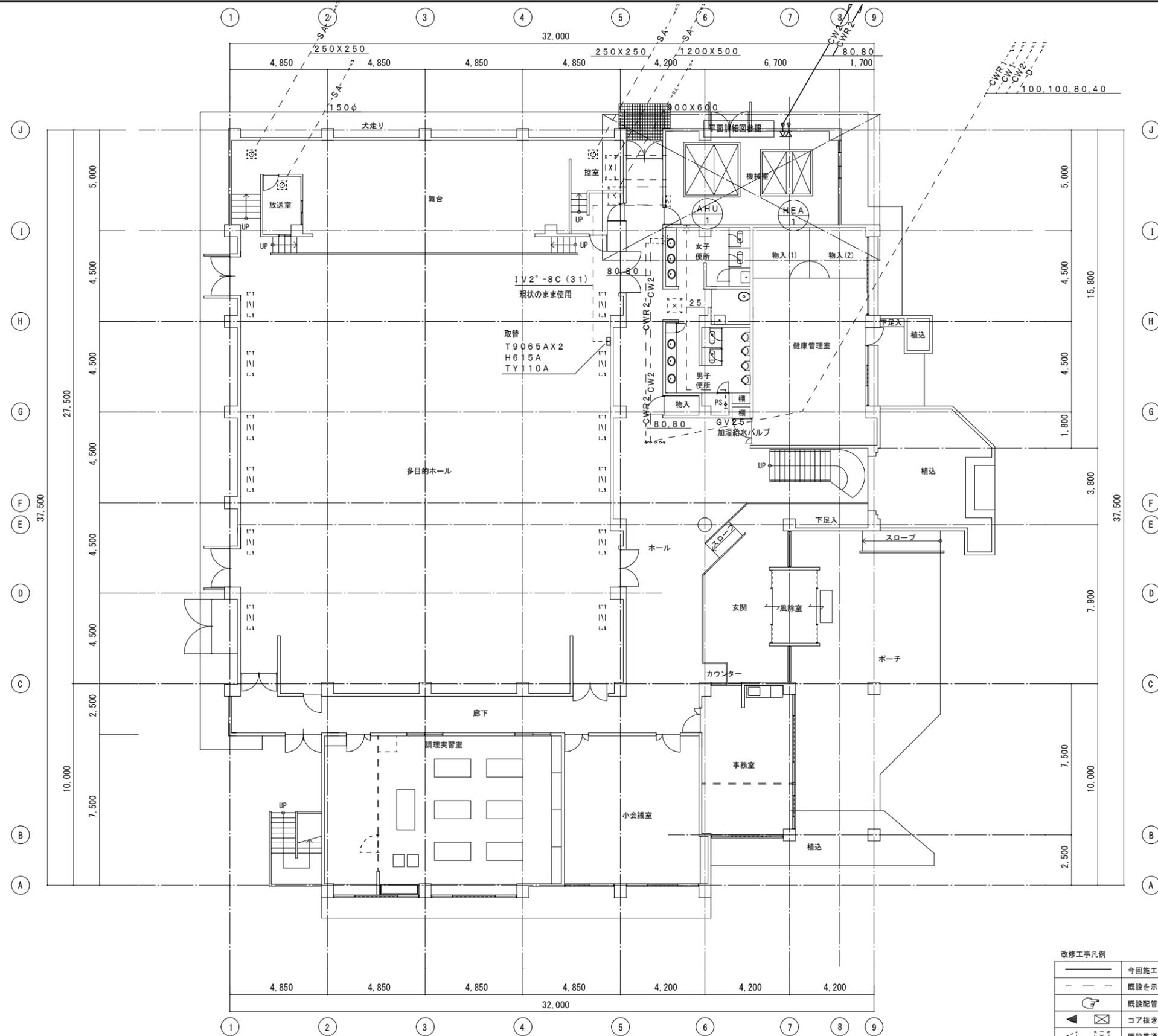
ダンパー: 現状のまま

①	FVD	1200X500
②	FD	900X600
③	VD	850X350
④	VD	850X1170
⑤	VD	850X350
⑥	VD	600X600
⑦	FD	700X600

撤去工事凡例: 処分共

———	今回撤去工事を示す。
- - -	既設を示す。

ダクト: 亜鉛鉄板ダクト
保温



1階平面図 S=1/150

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

TITLE
津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

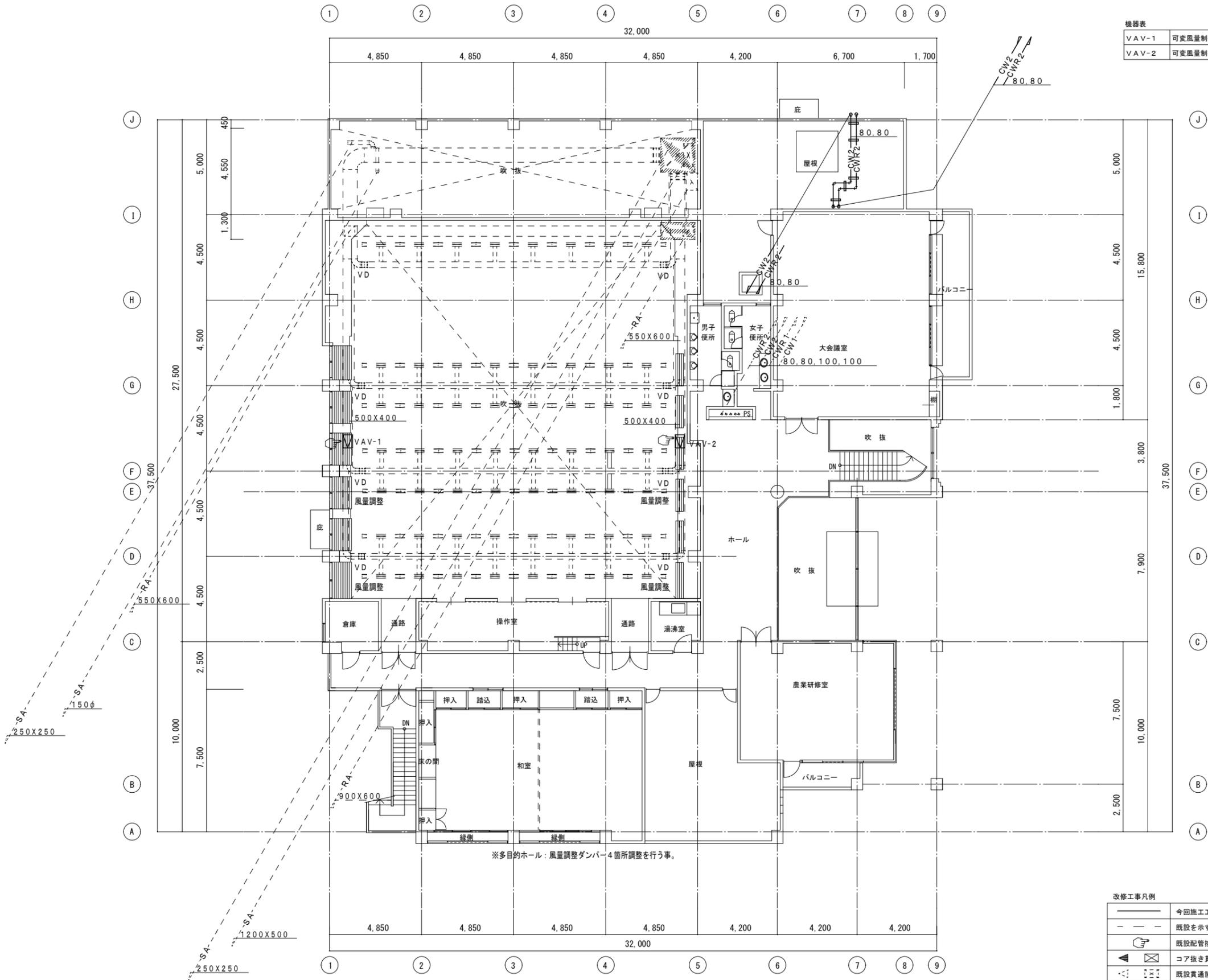
DRAWING TITLE
空調設備 1階平面図(改修後)

SCALE
1/150

一級建築士事務所 山本一級建築士事務所
三重県登録第1-753号
三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779
三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397

設計者
一級建築士
山本 寛康

No.
M-08
原因:A2



VAV-1	可変風量制御装置	4320	m ³ /h	1
VAV-2	可変風量制御装置	4320	m ³ /h	1

	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す

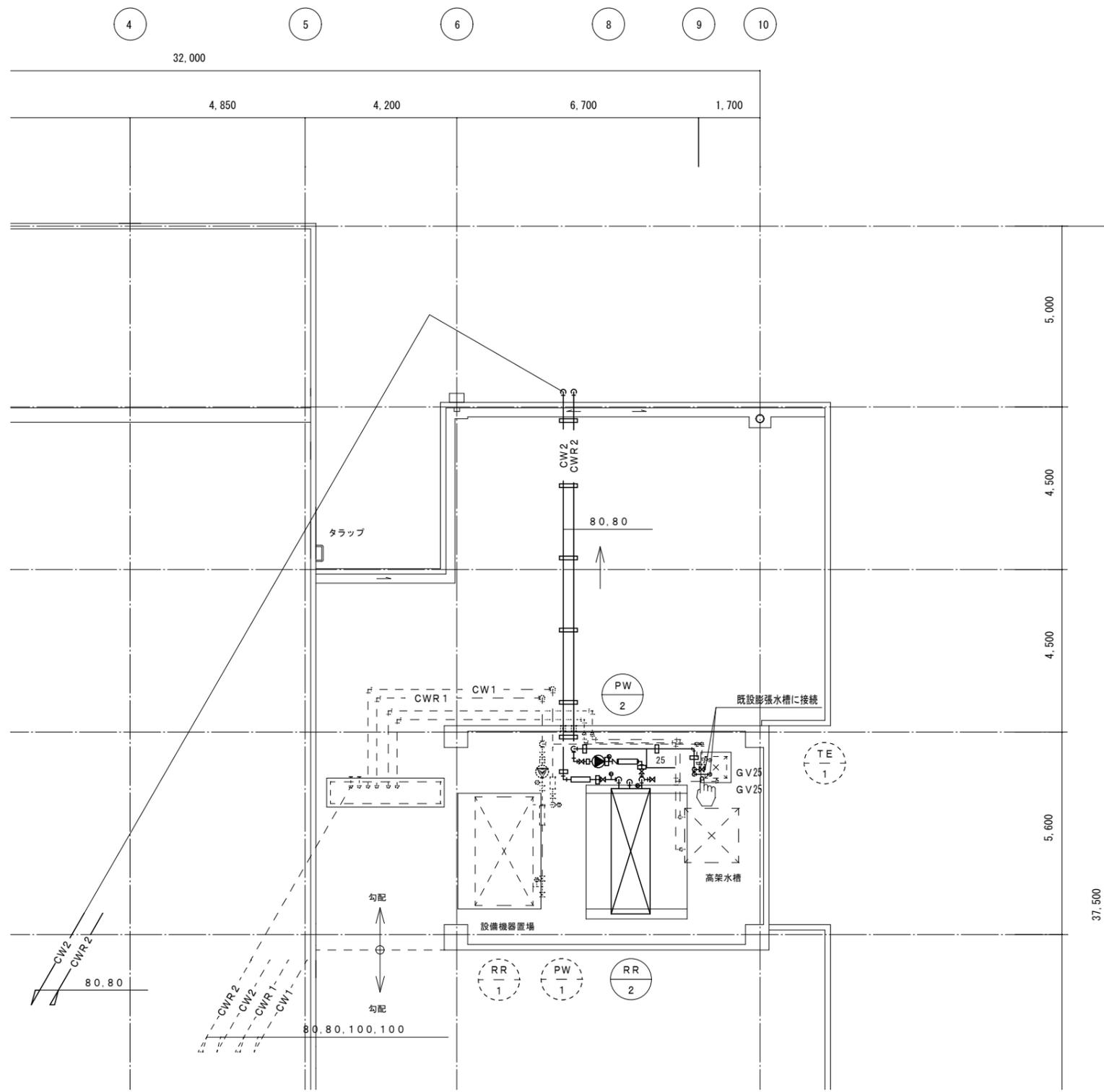
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。

2階平面図 S=1/150

TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事	DRAWING TITLE 空調設備 2階平面図(改修後)	SCALE 1/150	一級建築士事務所 三重県登録第1-753号	山本一級建築士事務所 三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779 三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397	設計者 一級建築士 第317991号 山本 亮康	No. M-09
			原因:A2			

空調機器表		
RR-2	空冷ヒートポンプ式チリングユニット	1
	冷水: 20.3m ³ /H (338.3L/min)	
	入口12℃, 出口7℃	
	冷却能力: 118.0kW (外気35℃)	
	温水: 20.3m ³ /H (338.3L/min)	
	入口40℃, 出口45℃	
	暖房能力: 118.0kW (外気7℃, 50%RH)	
	圧縮機: 7.3kW X 4 (3φ200V: インバータ)	
	送風機: 0.92kW X 4 (3φ200V: インバータ)	
	運転調整方式: 出口水温制御	
	冷媒ガス: R410: 15Kg X 4	
	保護装置: 圧力開閉器 (高圧), 圧力センサー (低圧)	
	過電流継電器, 凍結防止センサー,	
	吐出ガス温度センサー	
	付属品: リモコンスイッチ, 防振架台 他付属品一式	
	※国土交通省仕様とする。	
	リモコンスイッチは電気設備へ支給する。	

PW-2	循環ポンプ	1
	SUS製ラインポンプ (屋外設置)	
	モータ: 全閉外扇型	
	50φ X 340L/min X 25m X 3.7kW (3φ200V)	
	付属品: 付属品共	
	※国土交通省仕様とする。	



屋上平面詳細図 S=1/100

RR-2: チリングユニット 配管仕様			
冷温水往管	80A	温度計, GV80 (5K)	
		GV25 (5K) 水抜き	
冷温水還管	80A	温度計, GV80 (5K)	
		GV20A (5K): 20A空気抜弁	
		FJ: 80X800L (SUS)	
		25A安全弁	
ドレン管	50A	間接排水口50	

PW-2: 冷温水循環ポンプ 配管仕様			
吐出管	50A	圧力計, CV80 (10K)	
		防振継手	
吸込管	50A	圧力計, GV80 (5K)	
		防振継手	

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す

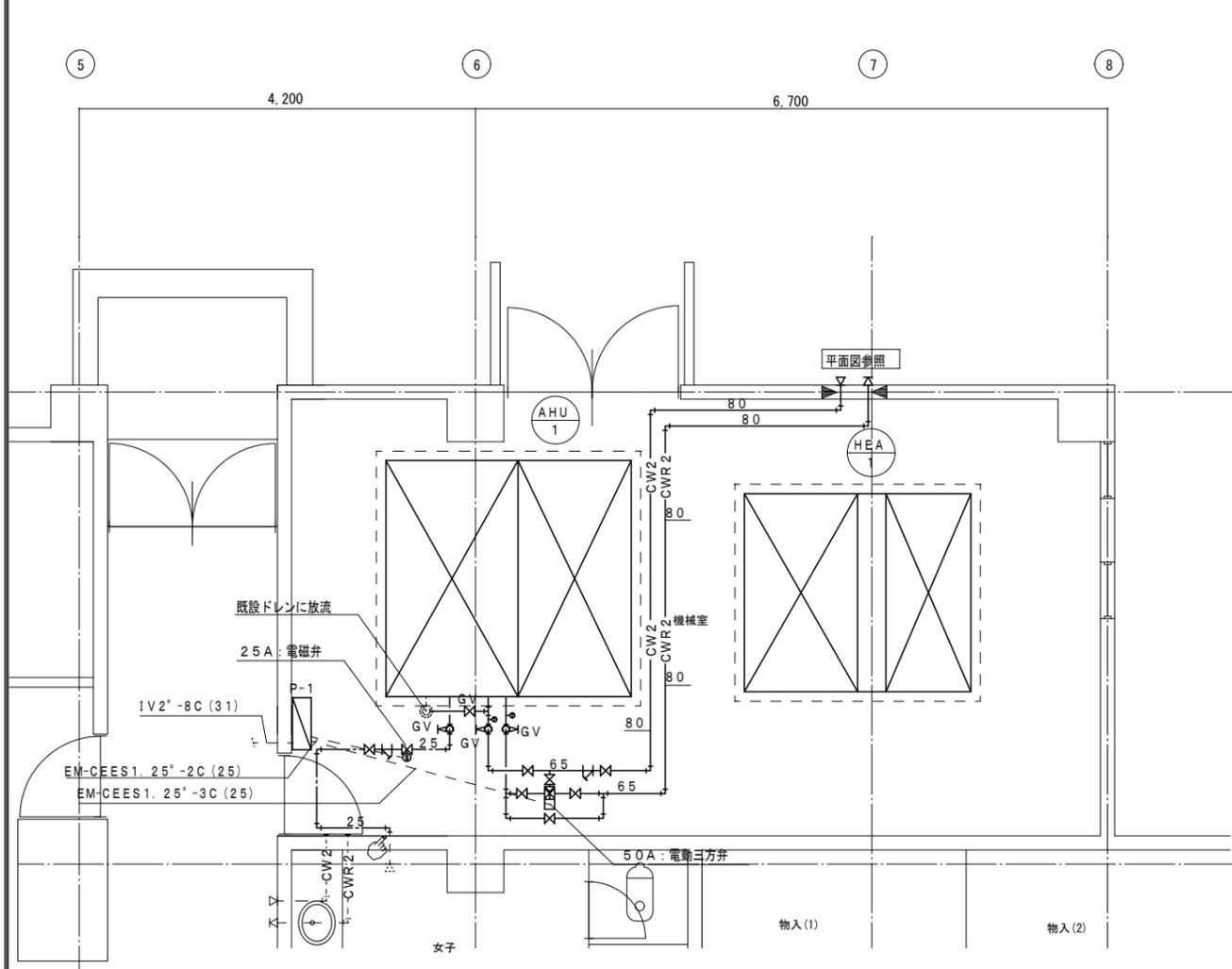
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。

部品交換機器及び交換作業内容一覧表

AHU-1	空調機 (多目的ホール)	形式: 立形	1
取替部品及び作業内容			
ファンベアリング: 軸受け交換			
ファンベルト: 交換			
フィルター (中性能): 取替			
加湿器: エレメント交換			
冷温水コイル: 外洗浄			

部品交換機器及び交換作業内容一覧表

HEA-1	全熱交換器 (多目的ホール)	形式: 静止形	1
取替部品及び作業内容			
ファンベアリング: 軸受け交換			
ファンベルト: 交換			
フィルター (中性能): 清掃			
エレメント: 清掃			
ファン整備			



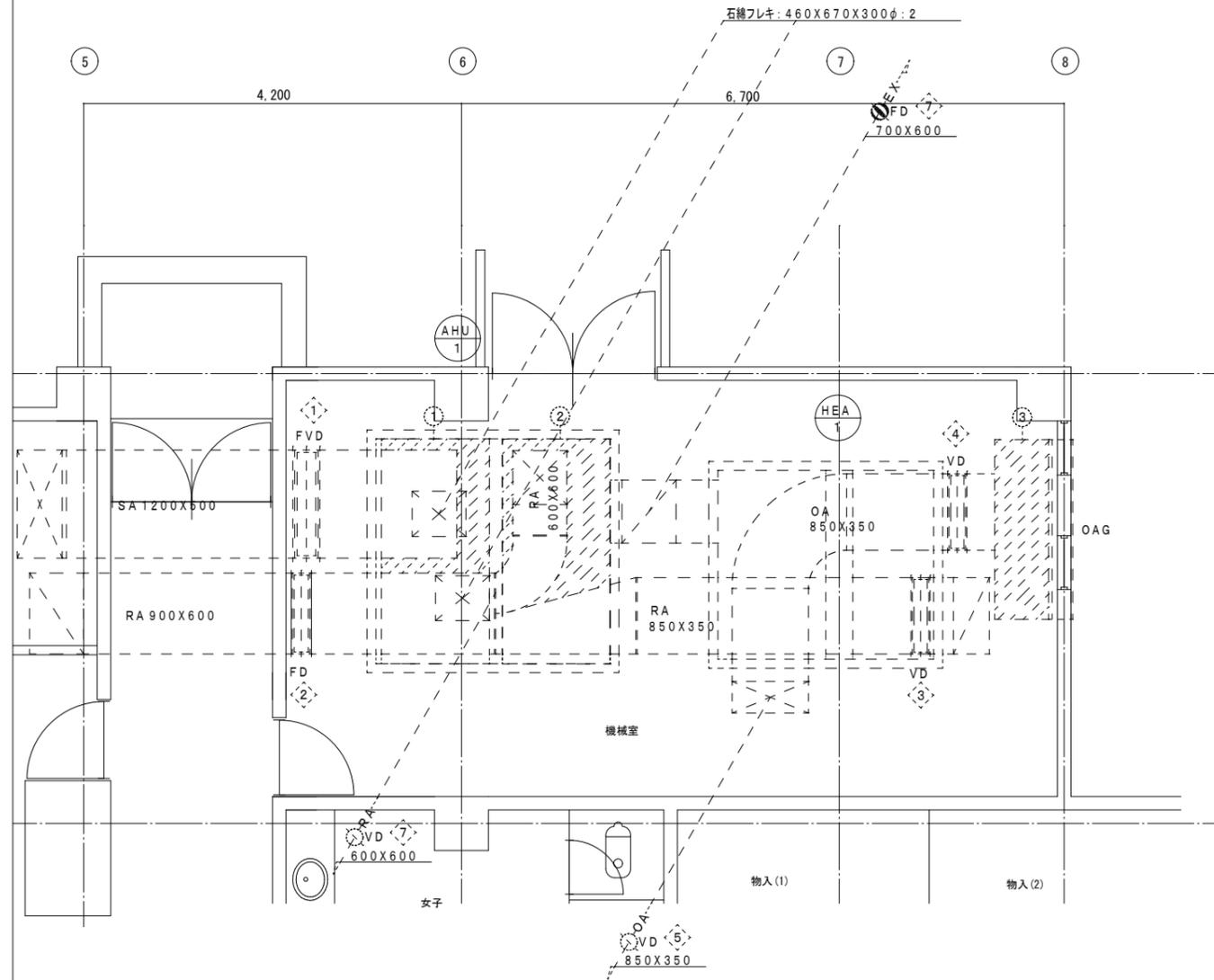
AHU-1: 空調機 配管仕様

冷温水入口	65A	GV 25A (5K): エアー抜き
		温度計
冷温水出口	65A	50A電動三方弁装置 (バイパス付)
		GV 25A (5K): エアー抜き
		GV 25A (5K): 水抜き
		圧力計, 温度計
加湿給水	25A	25A電磁弁装置
現状のまま		
ドレン管	40A	排水トラップ
自動制御盤		P-1: 但し改修工事は伴う

改修工事凡例

—	今回施工工事を示す
- - -	既設を示す
☞	既設配管接続箇所を示す
◀ ⊠	コア抜き貫通箇所を示す
◀ ⊠ ⊠	既設貫通箇所を示す

※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。



TITLE
津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

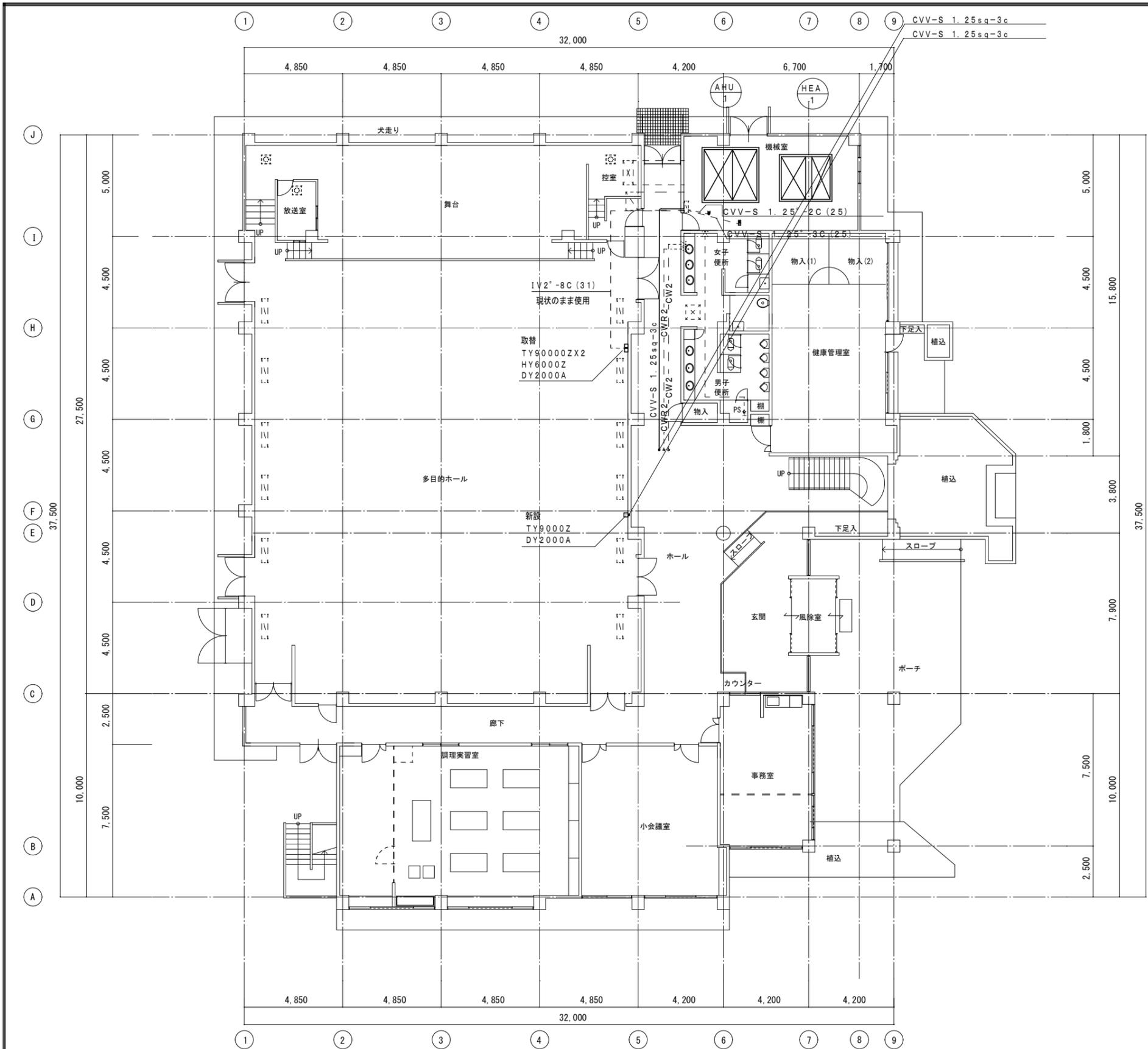
DRAWING TITLE
空調設備 1階平面詳細図 (改修後)

SCALE
1/50

一級建築士事務所 山本一級建築士事務所
三重県登録第1-753号
三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779
三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397

設計者
一級建築士
第317991号
山本 寛康

No.
M-11
原因: A2



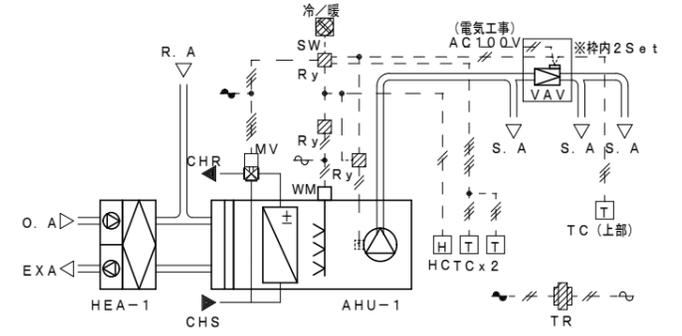
1 階平面図 S=1/150

自動制御機器

記号	名称	形番 (参考品番)	備考
TC	室内用温度調節器	TY9000Z	比例 0~135Ω
HC	室内用湿度調節器	HY6000Z	二位置
	サーモプレート	DY2000A	

<制御内容>

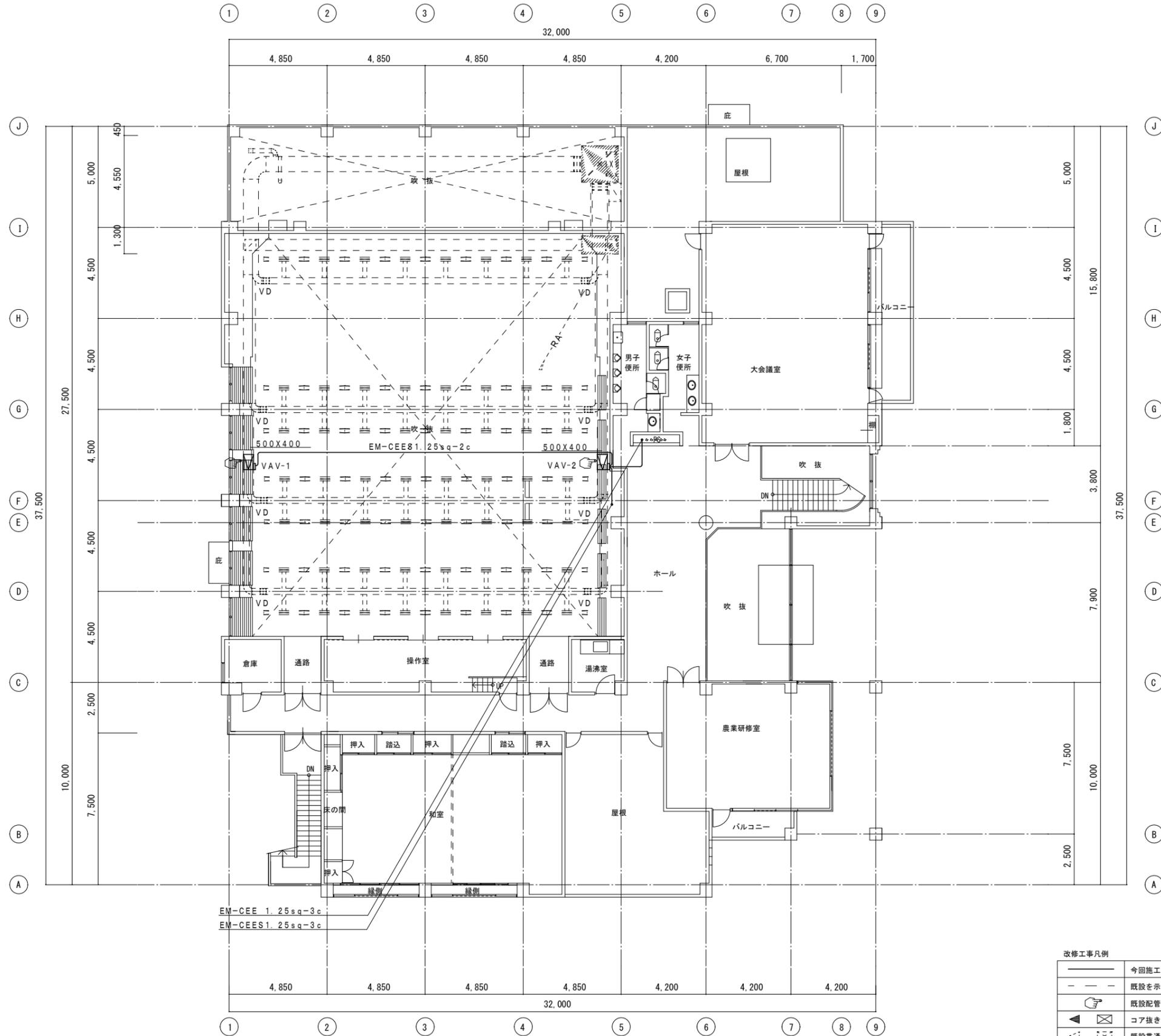
- ・室内温度 (下部) により冷温水三方弁の比例制御を行う。
- ・室内温度 (上部) によりVAVの比例制御 (冷房時) を行う。但し、暖房時は最少開度とする。
- ・室内湿度により加湿器の二位置制御制御を行う。



改修工事凡例

	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す

※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。



2階平面図 S=1/150

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

TITLE
津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

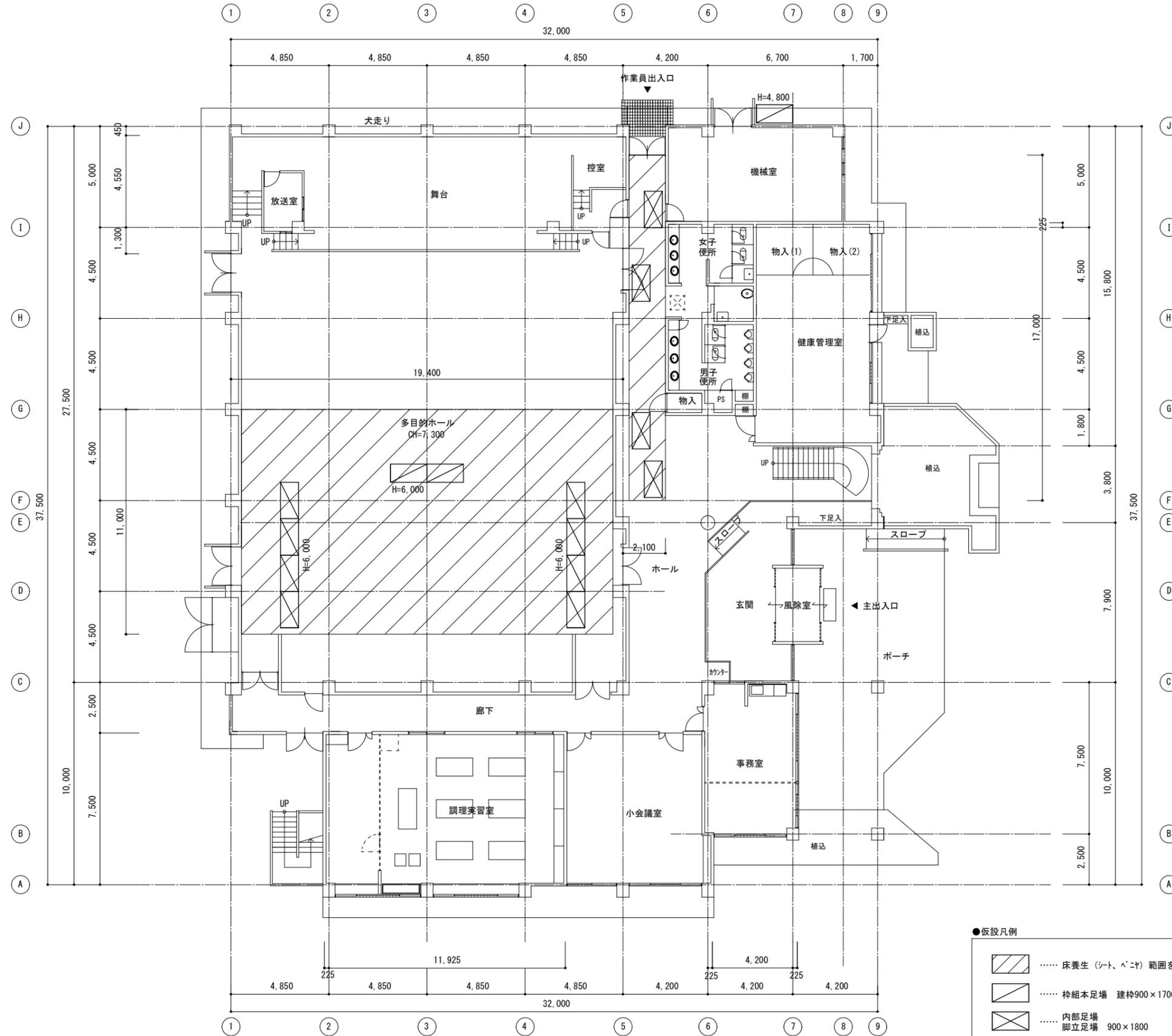
DRAWING TITLE
空調自動制御設備 2階平面図(改修後)

SCALE
1/150

一級建築士事務所 山本一級建築士事務所
三重県登録第1-753号
三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779
三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397

設計者
一級建築士
山本 寛康

No.
M-13
原因:A2



1階仮設計画図 S=1/150

TITLE
津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

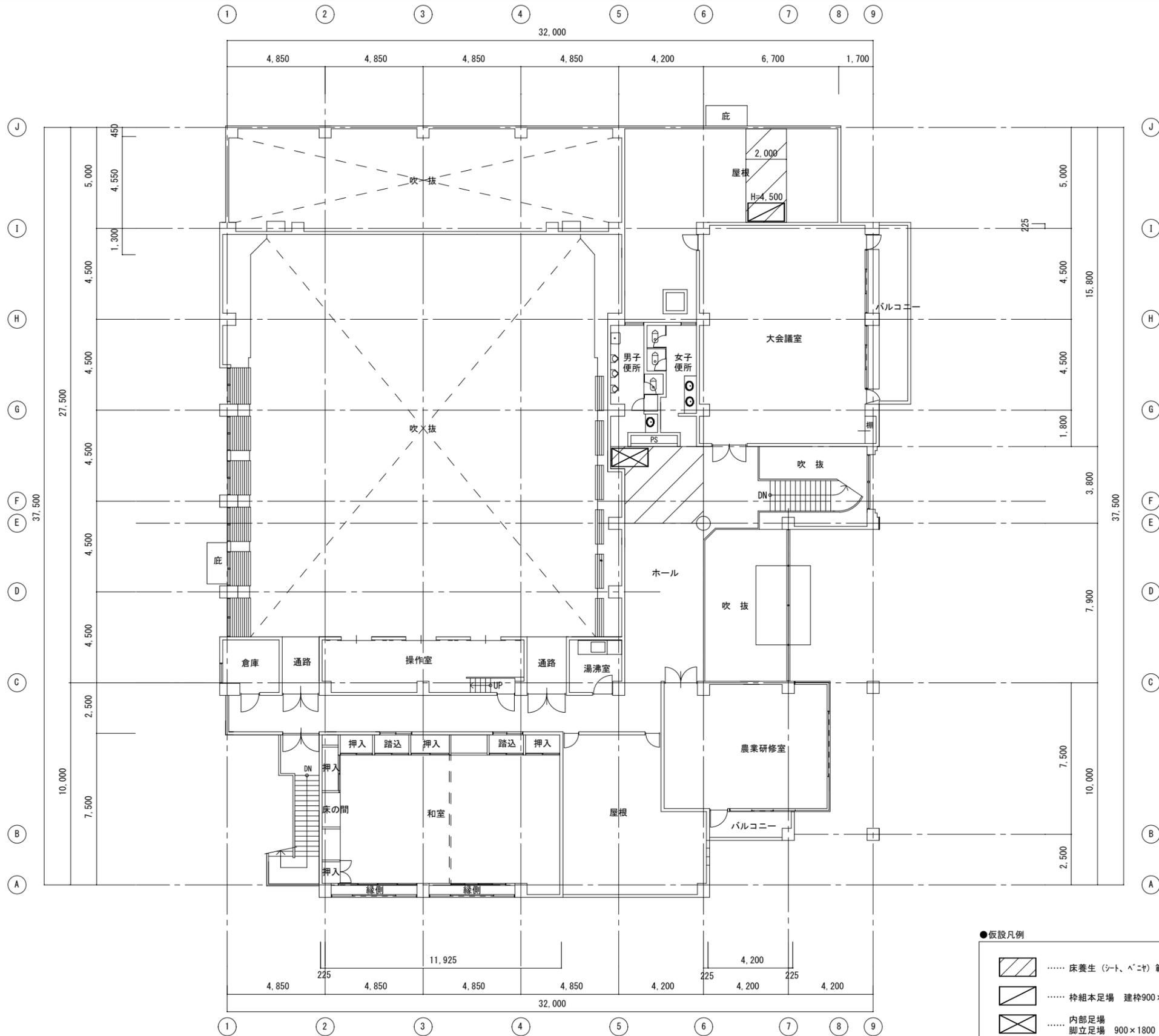
DRAWING TITLE
1階仮設計画図

SCALE
1/150

一級建築士事務所 山本一級建築士事務所
三重県登録第1-753号
三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779
三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397

設計者
一級建築士
第317991号
山本 寛康

No.
M-14
原因:A2

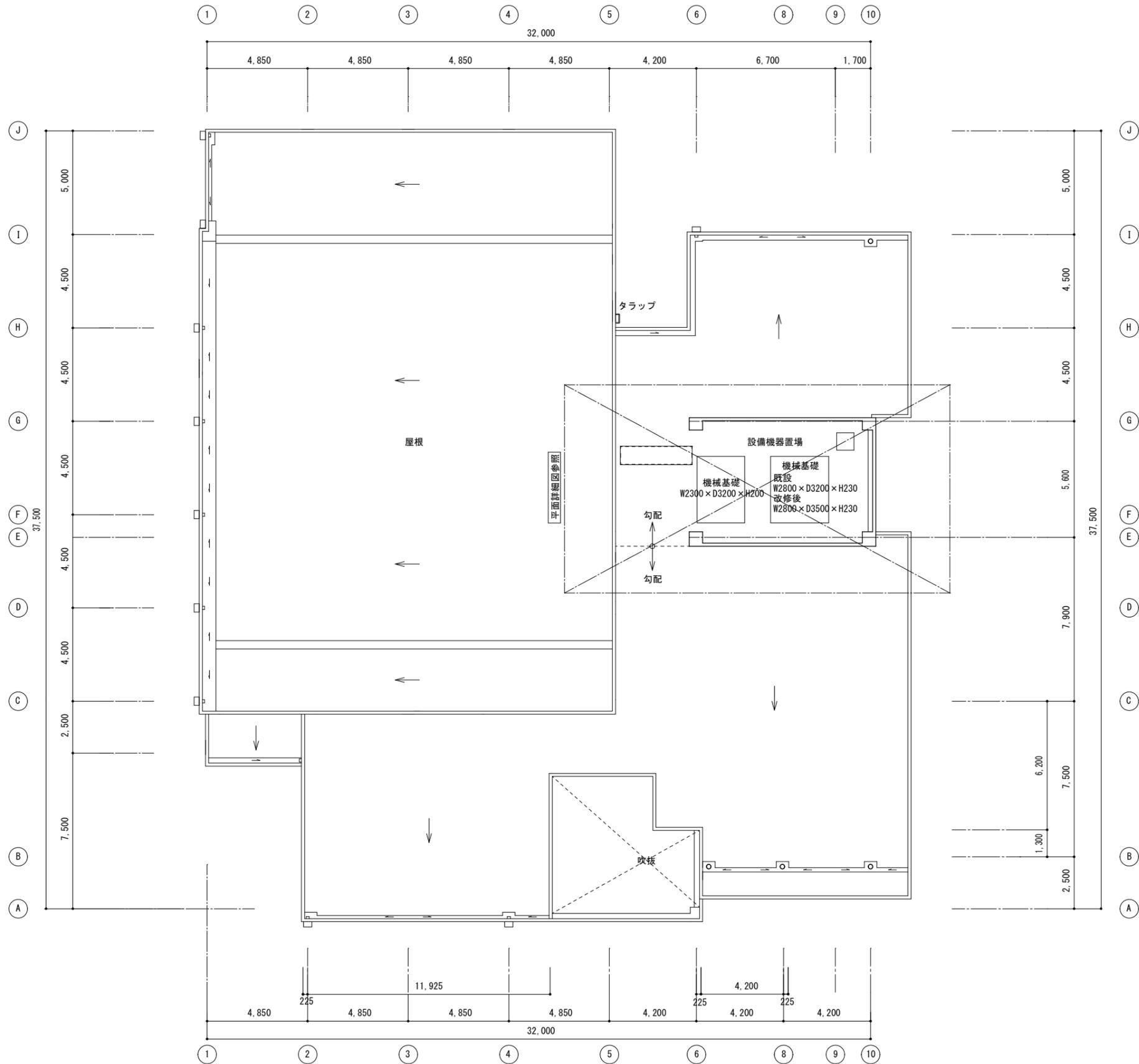


● 仮設凡例

- 床養生 (シート、パネ) 範囲を示す
- 枠組本足場 建枠900×1700
- 内部足場 脚立足場 900×1800

2階仮設計画図 S=1/150

<p>TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事</p>	<p>DRAWING TITLE 2階仮設計画図</p>	<p>SCALE 1/150</p>	<p>一級建築士事務所 三重県登録第1-753号 山本一級建築士事務所 三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779 三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397</p>	<p>設計者 一級建築士 第317991号 山本 寛康</p>	<p>No. M-15 原因:A2</p>
---	----------------------------------	------------------------	--	---	-------------------------------



現況・改修後 屋上平面図 S=1/150

TITLE
津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

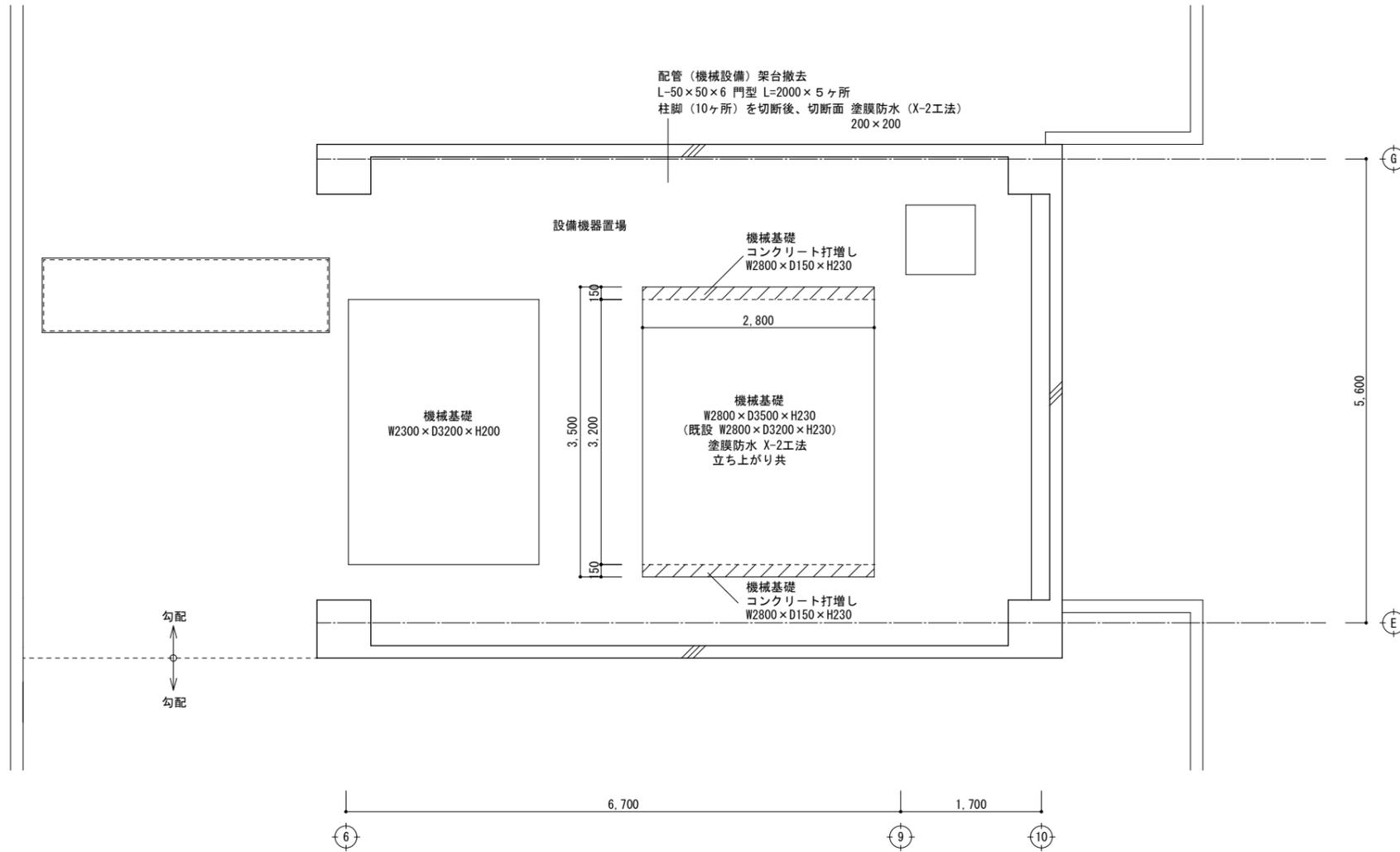
DRAWING TITLE
屋上平面図(改修前・改修後)

SCALE
1/150

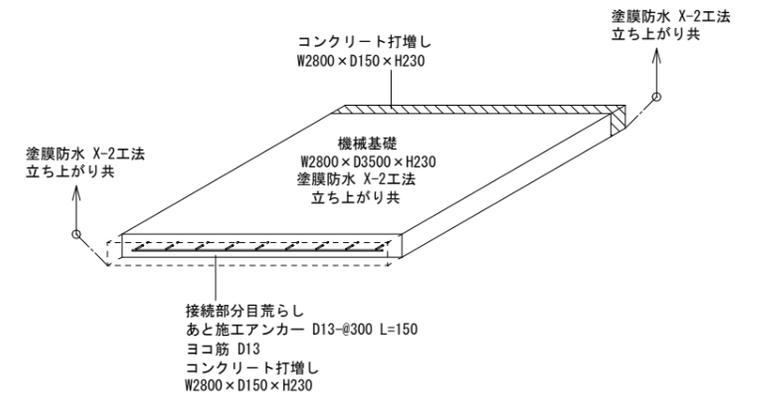
一級建築士事務所 山本一級建築士事務所
三重県登録第1-753号
三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779
三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397

設計者
一級建築士
山本 寛康

No.
M-16
原因:A2

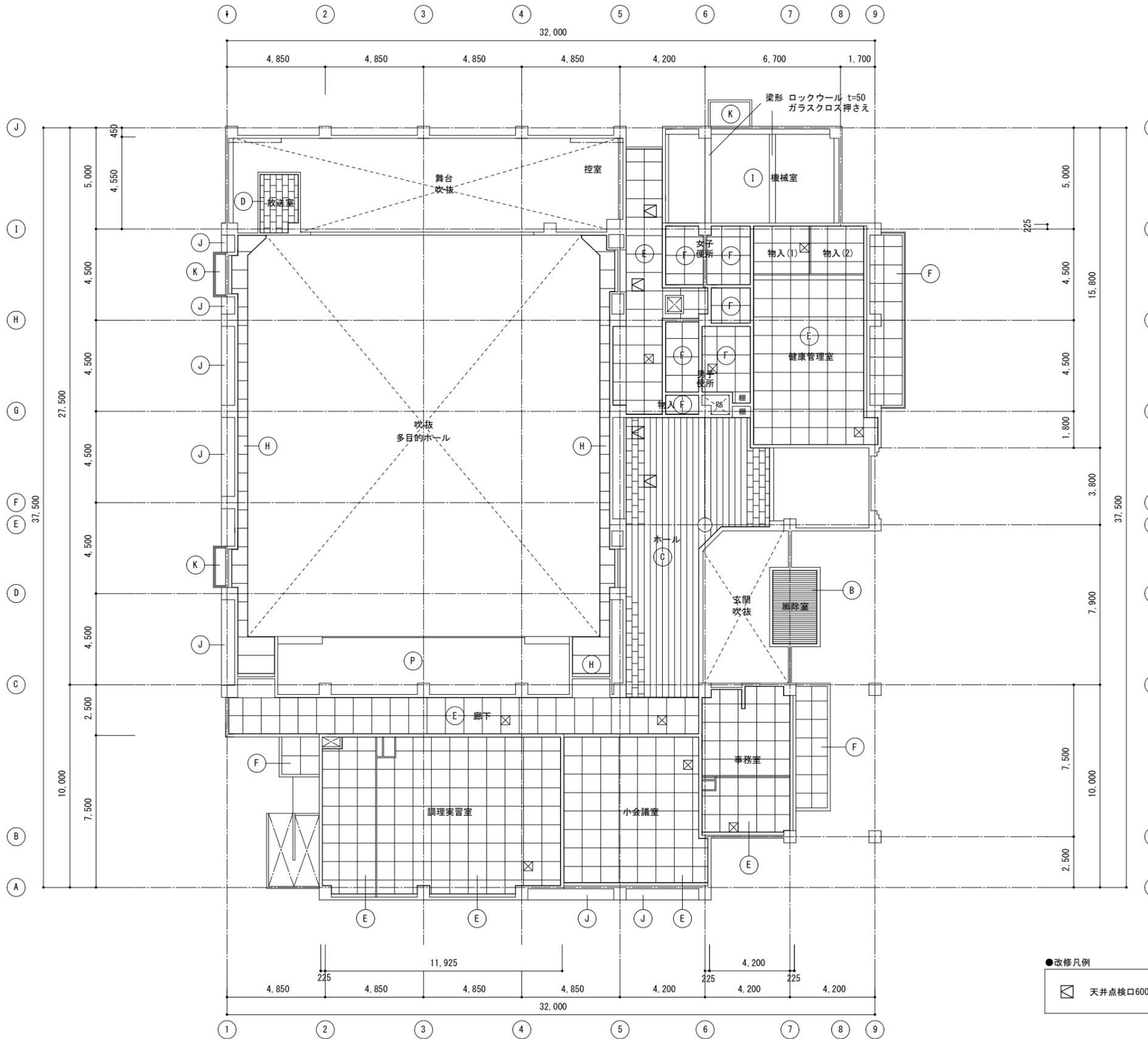


屋上平面詳細図 S=1/50



機械基礎立面図

<p>TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事</p>	<p>DRAWING TITLE 屋上平面詳細図（改修後）</p>	<p>SCALE 1/50</p>	<p>一級建築士事務所 三重県登録第1-753号 山本一級建築士事務所 三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779 三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397</p>	<p>設計者 一級建築士 山本 寛康</p>	<p>No. M-17 原図:A2</p>
---	---------------------------------------	-----------------------	--	--------------------------------	-------------------------------

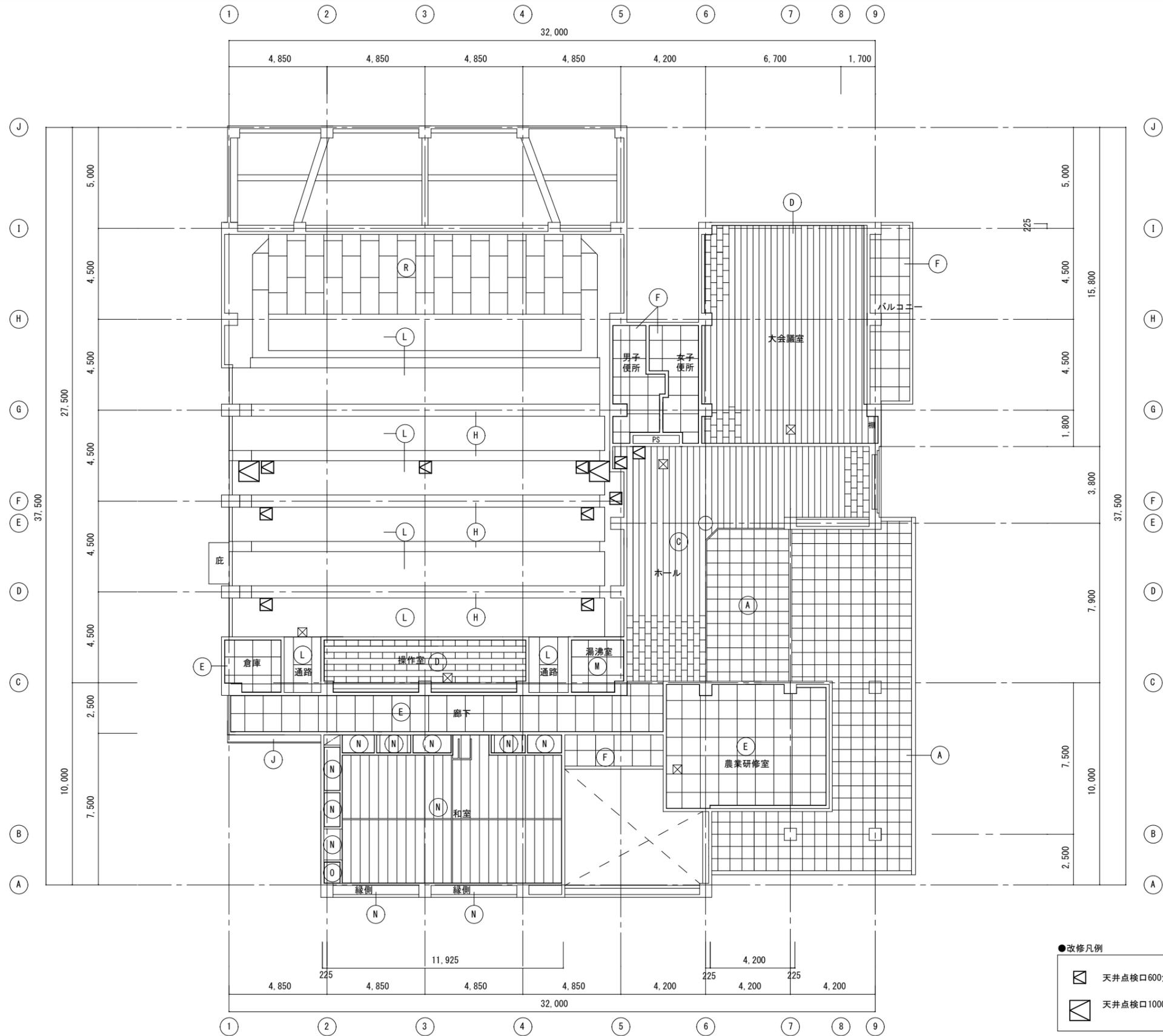


●天井仕上表

記号	改修前
(A)	ビニトッププレスパネル
(B)	アルミスバンドレル
(C)	石こうボードt=9下地 岩綿化粧吸音板t=19 ストライプ
(D)	石こうボードt=9下地 岩綿吸音板t=12
(E)	化粧石こうボードt=9
(F)	ケイ酸カルシウム板t=6下地 アクリル系リシン吹き付け
(G)	石こうボードt=9下地 ビニルクロス張り
(H)	石こうボードt=9下地 吹き付けタイル (E)
(I)	木毛板t=25
(J)	コンクリート打ち 吹き付けタイル (RE)
(K)	コンクリート打ち アクリル系リシン吹き付け
(L)	石こうボードt=9下地 アクリル系陶石吹き付け
(M)	ケイ酸カルシウム板t=6下地 AEP塗装
(N)	化粧石こうボードt=9
(O)	難燃合板t=5.5
(P)	コンクリート打ち放し仕上げ
(Q)	繊維混入石こうボードt=6下地 (アール加工) EP塗装
(R)	繊維混入石こうボードt=6下地 (アール加工) アクリル系陶石吹き付け
☒	アルミ製点検口 450角 既設

●改修凡例
☒ 天井点検口600角 新設 アルミ製枠

現況・改修後 1階天井伏図 S=1/150



●天井仕上表

記号	改修前
(A)	ビニトッププレスパネル
(B)	アルミスバンドレル
(C)	石こうボードt=9下地 岩綿化粧吸音板t=19 ストライプ
(D)	石こうボードt=9下地 岩綿吸音板t=12
(E)	化粧石こうボードt=9
(F)	ケイ酸カルシウム板t=6下地 アクリル系リシン吹き付け
(G)	石こうボードt=9下地 ビニルクロス張り
(H)	石こうボードt=9下地 吹き付けタイル (E)
(I)	木毛板t=25
(J)	コンクリート打ち 吹き付けタイル (RE)
(K)	コンクリート打ち アクリル系リシン吹き付け
(L)	石こうボードt=9下地 アクリル系陶石吹き付け
(M)	ケイ酸カルシウム板t=6下地 AEP塗装
(N)	化粧石こうボードt=9
(O)	難燃合板t=5.5
(P)	コンクリート打ち放し仕上げ
(Q)	繊維混入石こうボードt=6下地 (アール加工) EP塗装
(R)	繊維混入石こうボードt=6下地 (アール加工) アクリル系陶石吹き付け
☒	アルミ製点検口 450角 既設

●改修凡例

- ☒ 天井点検口600角 新設 アルミ製枠
- ☒ 天井点検口1000角 新設 アルミ製枠
内蓋2枚割り

現況・改修後 2階天井伏図 S=1/150

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要
 1. 工事名称 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事
2. 工事場所 津市一志町田尻 地内
3. 建物概要

建物概要	構造	階数	延べ面積 (㎡)	用途区分	
				消防法施行令別表第一	
一志農村環境改善センター	R C造	2階建	1488.26	1項 (D)	
計					

4. 工事種目
 主な工事種目は、下記の○印のついたものである。

工事種目	工事場所	
	一志農村環境改善センター	屋外
電力設備	○	
動力設備	○	
常保護設備		
接地設備		
突発電設備		○
電力貯蔵設備		
直流無停電電源設備		
電力平準化用蓄電設備		
分散電源制御装置		
発電設備		
ディーゼル発電設備		
ガスエンジン発電設備		
ガスタービン発電設備		
太陽光発電設備		
風力発電設備		
その他発電設備		
通信・情報設備		
構内情報通信網設備		
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
テレビ電波障害防除設備		
監視カメラ設備		
駐車場管理設備		
防犯・入退室管理設備		
自動火災報知設備		
自動閉鎖設備		
非常警報設備		
ガス漏れ火災警報設備		
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電経路		
構内通信経路		
その他		

II. 共通仕様

1. 適用

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。(最新のものを利用)

 - 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
 - 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「公共建築設備工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編)
 - 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」
 - 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
 - 国土交通省国土技術政策総合研究所独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針」
 - 電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)
 - 電気工事業の業務の適正化に関する法律
 - 電気工事法
 - 労働安全衛生法
 - 消防関連法規(条例・所轄指導要領を含む。)
 - 電力会社供給約款
 - その他関連法令、関連諸基準

2. 一般共通事項
 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項目	特記事項
1. 一般事項	(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による。上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ確実に施工すること。 (2) 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することを得ず不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講ずること。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。 なお、調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。
2. 施工中の安全確保及び環境保全	低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
3. 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び橋木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行うこと。
4. 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度末の年度末の4月1日から8月31日までの間に三重県産業廃棄物税支払い請求書と産業廃棄物納付証明書を送付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表(マニフェスト)の数量を集計し、超過して請求することはできない。
5. 電気工作物の種類	・一般電気工作物 ●自家用電気工作物 ・事業用電気工作物
6. 電気工事士	電気工事士の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。
7. 有資格者の配置	(1) 消防設備の工事に従事する者は、当該設備に関する甲種消防設備士の資格を有する者とする。 (2) 電話設備、その他施工に資格が必要なものについては、関係法令に基づいた有資格者を配置し、施工するものとする。
8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律	電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。
9. 電気主任技術者との調整	自家用電気工作物等で電気主任技術者が選任されている施設で工事を行う場合は、電気保安技術者を選任し、電気主任技術者により工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。 また、工事期間中の電気工作物の保安業務も行う。
10. 現場事務所に備え付ける図書	下記の図書(最新版のもの)を備え付ける。 ① 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) ② 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「公共建築設備工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編) ③ 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) ④ 国土交通省大臣官務庁官庁審判部監修「建築工事監理指針」・「電気設備工事監理指針」・「機械設備工事監理指針」 ⑤ 工事写真的見方一建築設備編 ⑥ その他、監督員の指示する図書及び工事の容量計算等に必要図書
11. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と充分に調整すること。 ① 総合施工計画書 包括工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。 ② 工事現場施工計画書(施工設備書) 各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。 ③ 施工図(プロット図、平面図、展開図、各種詳細図) 主要機械、重要機器、3kg超超吊り装置等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、充分な耐震性能を有する施工方法を提案すること。 ④ 耐震計算書、幹線計算書等 ⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など
12. 品質計画	品質計画については、監督員の承諾を受けること。
13. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。 機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は原則として表示された数値以上とする。
14. 機器類の能力等	関連業種間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお、月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
16. 工事写真	宮崎工事写真撮影要領(平成28年版)に従い撮影すること。
17. 完成図書	・ 作成する(・完成図 ・ 保全に関する資料(・)) ・ 完成図作成範囲(設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本3部(原寸1部、A3(見開き)2部)により提出すること。
18. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 ① 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ・ 指定あり ・ 指定日(・ 施設の休業日 ・ 打ち合わせによる ・ その他()) ② 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ・ 指定あり ・ 指定時間(・ () 時～() 時 ・ 打ち合わせによる ・ その他()) ③ 既設工事 ・ 適用する(工事期日より() 日前) ●適用しない ④ その他()
19. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する項目までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
20. 建設副産物	(1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」(建設資材を搬入する場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物を搬出する場合)を施工計画書に添付して監督員に提出する。 また、工事の完成又は完了した場合には「再生資源利用実績書」(建設資材を搬入した場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物を搬出した場合)を作成し、監督員に提出する。 なお、計画書及び実績書の提出とともにJ A C I Cが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行うこと。 (2) 請負額1億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書提出すること。

22. 発生材の処理等

- (1) 引き渡しを要するもの
 - 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。
- (2) 特別管理産業廃棄物
 - 発注者 ・ コンデンサ
 - その他()
 - 現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。
 なお施工に際して、P O B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等が発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
- (3) 現場内において再利用を図るもの
 - 発生土
 - その他()
- (4) 再資源化を図るもの
 - コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材
- (5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。
 また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。
- (6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、産業物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B2、D票を提示すること。)

23. 官公署への手続き
 工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を滞りなく行う。
 なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
 ・ 消防設備関係 ・ 電気工作物関係 ・ 変電関係 ・ 通信関係 ・ 建設工事関係
 ・ その他()

24. 消防法関係の手続き
 (1) 消火栓に係る消防設備等設置届出書の作成
 ・ 本工事 (・ 建築工事 ・ 電気設備工事) ・ 別途工事
 (2) 防火対象物使用開始届出書
 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。
 構内への設置 ・ できる(施設管理者との協議) ・ できない

25. 工事用仮設設備
 (1) 本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。
 (2) 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。
 また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

27. 工事中等の保安管理
 新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。

28. 搬入計画
 大型機器、重量物等の搬入前、搬入経路の有効寸法(扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、搬送機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。

29. 製品確認
 発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するよう規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が設置された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。

30. 機材等の検査及び試験
 検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。

31. 完成確認及び完成検査時の電源確保
 機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。

32. 完成時の操作説明
 タイマ、総合盤、動力盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。
 また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項を作成し、機側に備えるものとする。

33. 不正軽油の使用の禁止
 市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の認定を受ける業務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
 受注者は、前記使用燃料の理由調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に関係者との協力による管理及び監視をしなければならない。
 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監視しなければならない。

34. その他
 設計図書に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。

2. 施工仕様

下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項目	特記事項
1. 既設設備等の調査	既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。 (1) 地中埋設管路 1) 項目 ・ 埋設配管 ・ 構造物 ・ その他() 2) 調査範囲 ・ 埋設ルート ・ その他() (2) 貫通及びはつり 1) 項目 ●鉄筋 ●配管 ・ その他() 2) 調査範囲 ●施工部分 ・ その他() (3) 既設との取合い 1) 項目 ●接続箇所 ●増設箇所 ・ その他() 2) 調査範囲 ●施工部分 ・ その他()
2. 施工前の測定等	改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に先行し、監督員に報告すること。
3. 耐震施工	(1) 想定される地震に対応するものとする。 (2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。
4. 耐震基準	(1) 適用耐震措置の計算及び施工方法は、最新版の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(建設大臣官務庁官庁審判部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (2) 設計用水平地震力機器の重量に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度度は次のによる。 設計用標準水平震度(Ks)
5. はつり	(1) 穴開け及び補修 ・ なし ●あり (2) 溝はつり及び補修 ・ なし ・ あり
6. あと施工アンカー	性能確認試験及び施工確認試験 ・ 行う ・ 行わない
7. 基礎の配線ピット	基礎に配線ピットを設ける場合、ピットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。
8. 配管・配線の耐震処置	建物引込部の配管の耐震処置 ・ 行う ・ 行わない 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・ 行う ・ 行わない
9. 最上層の埋込配管	最上層のコンクリート層構造スラブへの埋込配管は、原則として行わない。
10. 露出配管	(1) 雨樋外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (3) 露出部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (4) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。
11. 合成樹脂管	(1) 合成樹脂管の管端には、フッティングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。(P F管)
12. 金属製電線管等の塗装	(1) 露出配管、露出ボックス、調整プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 1) 屋外、屋内(電気室、機械室、E P S、厨室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。 2) 図面に特記なき場合は、消磁塗料メッキ鋼材製のホール及びブームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指定がある場合はその指示による。 3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること。(監督員が指示した場合は除く。) 4) 夜間通廊の金属配管には禁止塗料を塗布すること。 (2) 塗料はエポキシプライマー1種の地下埋設のうえ、監督員の指定する色にて露出ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。
13. 導入線	連絡を行わない配管及び配線引継ぎ後に空となった配管には、導入線(φ1.2mm以上の樹脂被覆線等)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。
14. ボックス類	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。
15. 軽量間仕切りボックス	軽量間仕切りに位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。
16. プルボックス	(1) 屋外形及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの(一辺が600mm以上のもの)は、製作図を提出すること。 (2) 屋外形プルボックスと露出配管等の接続部は、カップリング溶接等による。ただし、既設プルボックスに接続する場合は防水パテ等でシーリングを行う。 (3) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。
17. ボルト・ナット類	屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないものは ●ステンレス ・ 消磁塗料メッキ仕上げ
18. ケーブル及び配線	(1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に先行き表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。)を取り付ける。 ① ケーブル分岐部分 ② プルボックス内 ③ マンホール及びハンドホールごと (2) ケーブル余長 1) 地中埋設の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所
19. 高圧ケーブル端処理	高圧ケーブルの端処理部、直結接続部等に処理者銘板(屋内外共で、種名、作業日、氏名等を表示。)を取り付ける。

20. 配線器具の設置	(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電線の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4) プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5) カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、断熱を要しない箇所等には旧金属表示をすること。 (6) フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リフト付)とする。
21. 照明器具の設置	(1) コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く。) (2) 接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線(緑線)を添えることもできる。 (3) 照明器具を設置する際に、照度測定を行って監督員の承認を得ること。 (4) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (5) 天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6) バイブ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。
22. 照明改修の際の測定	対象箇所の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定回数 () 回
23. 分電盤、制御盤、キュービクル等	(1) 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2) 屋外キャビネット等で高出配管をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。
24. 受電設備、発電設備の設置	(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3) 電気室には水害、蒸気等、ガス管、ダクト等を通過させない。
25. 発電設備の燃料配管	(1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所定の消防等と十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。
26. 電気設備の計算及び測定	(1) 計算書の提出 電気設備測定結果による計算書を作成し提出すること。 (2) 測定の実施 1) 項目 全電圧チャンネルの電圧強度、受電画像、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 2) 測定時期 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ 施工後 ・ その他 () 3) 報告書提出 ・ 躯体上がり時 ・ 施工後 ・ その他 () ・ 2部 () 部
27. 土工事	(1) 埋戻しの材料及び工法 ・ 目録 (材料: 掘り切土中の負重土 / 工法: 機器による締め固め) ・ その他 () ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき中層配管の深さは、G.L. - 600mm以上とする。 (3) 掘り切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外家電設備及び自家発電設備の基礎等は総掘り、埋設管路等は布張り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は掘り切り底を乱さないようにする。
28. ハンドホール、マンホール	1) 地中配線及びハンドホール等状況が考慮される場合は、以下対策を施す。 2) 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期応力とする。 3) 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 4) 高さ900mmを超えるものについては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付けは450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。
29. 地中配線路の表示杭	下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中配線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では30m程度に1個

3. 機器仕様	下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については、図面による。
【電力設備】	
1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い () (2) 機器類 () (3) 一般照明器具 () (4) 照明制御装置 () (5) 外灯 (単独設置) ()
2. 動力設備	(1) 既設との取り合い () (2) 機器類 () (3) 負荷設備 () (4) 負荷設備への接続 () (5) 電動機等の接地 () (6) 電動機等の力率の改善 () (7) 保護継電器 () (8) 分電盤、制御盤等 ()
3. 雷保護設備	(1) 避雷針 () (2) 雷サージ保護 () (3) 電源回路の保護 () (4) 通信回路の保護 () (5) 接地設備 () (6) 接地抵抗の測定 () (7) 接地極埋設 ()
【受電設備】	高圧以外の受電設備については、本項によらず別図による。
(1) 既設との取り合い	()
(2) 機器類	()
(3) 盤類	()
(4) 交流遮断器	()

(5) 断路器	1) 形式 2) 操作方式 (6) 負荷開閉器 (7) 変圧器 (8) 連相コンデンサ (9) 直列リアクトル (連相コンデンサ用) (10) 設備不平衡 (11) キュービクル等 (12) 基礎 (13) 配線ピット及び蓋 (14) 設置場所 【電力貯蔵設備】 6. 直流電源設備 (1) 用途 (2) 容量 (3) 給電方式 (4) 整流装置等 (5) 蓄電池 (6) 性能 8. 電力平準化用蓄電設備 (1) 用途 (2) 機能 (3) 蓄電池 (4) 性能 9. 分散電源 【発電設備】 10. 燃料発電設備
1) 形式	・ 3極単投 ・ 単相単投 (選定範囲に限る)
2) 操作方式	・ 遠方手動操作 ・ フック操作 (選定範囲に限る)
1) 形式	・ 配電専用 ・ 引込柱用 ・ 地中引込用
2) 配電専用	① 操作方式 ② 戻流ヒューズ ③ 引外し装置 ④ 本体及び制御箱の材質 ⑤ 避雷器 ⑥ 保護装置
3) 引込柱用	① 戻流ヒューズ ② ストライカ引外し ③ ストライカ引外し ④ ステンレス製 ⑤ 鋼製
4) 地中引込用	① 本体及び制御箱の材質 ② ステンレス製 ③ 鋼製
1) 形式	・ 油入 ・ モールド
2) 設置方式	・ 屋外 ・ 屋内型
3) ダイアル温度計	・ 有 (最大値指針 有・最大値指針 無) ・ 無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする
1) 絶縁方式	・ 油入 ・ モールド
2) その他	① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を附属又は内蔵すること
1) 絶縁方式	・ 油入 ・ モールド
2) 容量	・ 6% ・ 3% その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること
3) その他	内部異常を検知して動作する警報接点を設けること
1) 鉄板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅棒は自接のしやい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は非指針付(定格電流指示)とする。	
1) 用途	・ 非常用照明器具電源 ・ 受電設備制御電源 ・ その他 ()
(2) 容量	() kVA
(3) 給電方式	・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式
(4) 整流装置等	整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。
1) 種類	・ 鉛蓄電池 (・HS・MSE・長寿命形MSE) ・ アルカリ蓄電池 (・AH・AMH) ・ その他 ()
2) 最低蓄電池温度	・ 5℃ ・ 15℃ ・ 25℃ ・ -5℃ ・ ()℃
(6) 性能	停電復帰時間 ()
(1) 用途	()
(2) 機能	・ ビークシフト機能 ・ ビークカット機能 ・ 商用停電時のバックアップ機能
(3) 蓄電池	1) 種類 2) 容量 3) 期待寿命 4) 充放電回数 5) 放電時間 6) 補修 製造者標準 ・ その他 ()
(4) 性能	1) 交流入出力電圧方式 2) 区分 3) 系統連系 ① 電圧方式 ② 定格周波数 ③ 定格出力 ④ 冷却方式
(5) 計測表示	遠方監視用接点 ・ 設けない ・ 設ける (詳細は別図による)
(6) 状態・警報表示	移動の遠方監視用接点の搭載を必須とする。
9. 分散電源	仕様詳細は別図による。
(1) 用途	・ 防災電源専用 (防災認定品) ・ 防災電源兼用 (防災認定品) ・ 一般用
2) 区分	・ 常用 ・ 非常用
(2) 設置場所	・ 屋内 ・ 屋外 (普通地域・埋設地域)
(3) 機器	・ 発電装置 ・ 燃料槽 ・ 給油ボックス ・ 燃料移送ポンプ ・ その他 ()
(4) 発電装置	1) 種類 2) 形式 3) 始動時間 (停電後) 4) 連続運転時間 5) 発電機 6) 原動機 7) 燃料槽 8) 燃料移送ポンプ (9) 基礎
1) 種類	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置
2) 形式	・ 箱形 ・ オープン式 ・ キュービクル式 (・85dB(A)/m ・75dB(A)/m)
3) 始動時間 (停電後)	・ 10秒以内 ・ 40秒以内
4) 連続運転時間	・ 2時間以上 ・ 10時間以上 ・ 24時間以上 ・ 72時間以上 ・ その他 ()
5) 発電機	① 電圧方式 ② 定格周波数 ③ 定格出力 ④ 冷却方式
6) 原動機	① 定格出力 ② 冷却方式
1) 種類	・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ その他 ()
2) 引渡時燃料	・ 満タン ・ 指定なし ・ その他 ()
(6) 燃料槽	1) 形式及び容量 2) 燃料小出槽 3) 主燃料槽 ① 設置場所 ② 設置方式 ③ 設置工事 ④ タンク受取工事 (7) 給油ボックス (8) 燃料移送ポンプ (9) 基礎
1) 形式及び容量	・ パッケージ搭載タンク ()リットル ・ リットル ・ 主燃料槽 ()リットル ・ リットル
2) 燃料小出槽	・ 屋外型 (ステンレス製・鋼製) ・ 屋内型 (ステンレス製・鋼製)
3) 主燃料槽	① 設置場所 ② 設置方式 ③ 設置工事 ④ タンク受取工事
① 設置場所	・ 屋内 ・ 屋外 (地上) ・ 地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設)
② 設置方式	・ 一般型タンク ・ その他 ()
③ 設置工事	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ その他 ()
④ タンク受取工事	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ()
1) 材質	・ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ その他 ()
2) 油量指示計	・ 有 ・ 無
1) 電動ポンプ	・ 車中ポンプ ・ 油中ポンプ
2) 手動ポンプ (ウイングポンプ)	・ 有 ・ 無
3) 電動ポンプ水没防止カバー	・ 有 ・ 無
(9) 基礎	・ 本工事 (・2.1N/mm ² ・1.8N/mm ²) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ()

11. 太陽光発電設備	(1) 機器 (2) 太陽電池アレイ (3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 (4) 情報処理装置 (5) 仕様詳細 12. 風力発電設備 (1) 機器 (2) 風車発電装置 (3) 制御盤 (4) 支持構造物 (5) 情報処理装置 (6) 仕様詳細 13. その他発電設備 【通信・情報設備】 14. 構内情報通信設備 (1) インターフェース (2) 機器 (3) ケーブル (4) アウトレット 15. 構内交換設備 (1) 機器 (2) 交換装置 (3) 電話機 (4) 端子盤類 (5) アウトレット 16. 情報表示設備 (1) 設備 (2) マルチサイン装置 (3) 出退表示装置 (4) 時刻表示装置
1) 機器	・ 太陽電池アレイ ・ パワーコンディショナ ・ 系統連系保護装置 ・ 接続箱 ・ 情報処理装置 ・ その他 ()
(2) 太陽電池アレイ	1) 発電能力 2) 架台は、JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。
(3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置	1) 出力電圧方式 2) 定格周波数 3) 設置場所 4) 設置方式 5) 機能 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。
(4) 情報処理装置	1) 装置 2) 記録作成 ・ 日報 ・ 月報 ・ 年報 ・ その他 ()
(5) 仕様詳細	仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。
(1) 機器	・ 風車発電装置 ・ 制御装置 ・ 系統連系保護装置 ・ 支持構造物 ・ 情報処理装置 ・ その他 ()
(2) 風車発電装置	発電能力 定格出力 () kW
(3) 制御盤	1) 出力電圧方式 2) 定格周波数 3) 設置場所 4) 設置方式 5) 機能 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。 自車、積載荷重、積雪、振動、衝撃等に対し、安全が確保されたものとする。
(4) 支持構造物	1) 装置 2) 記録作成 ・ 日報 ・ 月報 ・ 年報 ・ その他 ()
(5) 情報処理装置	1) 装置 2) 記録作成 ・ 日報 ・ 月報 ・ 年報 ・ その他 ()
(6) 仕様詳細	仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。
(1) インターフェース	1) LAN 2) WAN ()
(2) 機器	・ スイッチ ・ ルータ ・ メディアコンバータ ・ ファイアウォール ・ 時刻同期装置 ・ ネットワーク管理装置 ・ 機器収納ラック ・ アウトレット ・ その他 () 各機器の仕様詳細は別図による。
(3) ケーブル	1) 幹線系 2) 支線系 3) フロア系 ()
(4) アウトレット	・ ローテンションアウトレット (・固定型 ・ 上下動型 (アップ式を含む)) ・ 壁コンセント ・ その他 ()
(1) 機器	・ 交換装置 ・ 電話機 ・ 端子盤類 ・ アウトレット ・ その他 ()
(2) 交換装置	1) 種別 2) 局線対応方式 ()
(3) 電話機	① 形式 ② 停電復帰時間 ()以上
(4) 端子盤類	1) 端子盤 2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。
(5) アウトレット	・ ローテンションアウトレット (・固定型 ・ 上下動型 (アップ式を含む)) ・ 壁コンセント ・ その他 ()
(1) 設備	・ マルチサイン装置 ・ 出退表示装置 ・ 時刻表示装置 ・ 警報等表示装置
(2) マルチサイン装置	1) 機器 2) 遠征方式 3) 操作制御部 4) 情報表示装置
(3) 出退表示装置	1) 機器 2) 出退表示装置
(4) 時刻表示装置	1) 機器 2) 観時計 ① 形式 ② 時刻補正機能 ③ 回数 ④ 機能 3) 子時計 4) 電源装置 5) 単独時計 6) 警報等表示装置
1) 機器	・ 時計 ・ 電源装置 ・ 単独時計 ・ その他 ()
2) 観時計	① 形式 ② 時刻補正機能 ③ 回数 ④ 機能
3) 子時計	① 方式 ② 設置場所 ③ 運転可能時間 (・10時間 ・) (時間)
4) 電源装置	① 方式 ② 設置場所 ③ 時刻補正機能 ・ 有 ・ 無
(5) 単独時計	① 方式 ② 設置場所 ③ 時刻補正機能 ・ 有 ・ 無
(6) 警報等表示装置	1) 機器 2) 表示装置 3) 検出装置 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。

17. 映像・音響設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像機器 音響機器 操作装置 <p>(2)映像機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 表示機器 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクタ(・前面投射式) スクリーン(・反射マトリクス形) スクリーン巻上装置(・電動式) 液晶ディスプレイ 付属機器 <ul style="list-style-type: none"> 録音再生装置(・HDD) テレビチューナー(・UHF) カメラ パソコン <p>(3)音響機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 増幅器 <ul style="list-style-type: none"> 出力(150x4)W 方式(ステレオ) 出力インピーダンス(L形) 付属機器 <ul style="list-style-type: none"> オーディオミキサー 録音再生装置(・CD) アナウンスレコーダ(・チャイム) 無線マイクホン 有線マイクホン スピーカ <ul style="list-style-type: none"> 形状(・キャビネットラック型) 設置(・固定式) <p>(4)操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形状(・卓型) 設置(・固定式)
18. 拡声設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 増幅器 付属機器 スピーカ <p>(2)増幅器</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) 専用出力()W 出力インピーダンス(L形) <p>(3)付属機器</p> <ul style="list-style-type: none"> オーディオミキサー 録音再生装置(・CD) アナウンスレコーダ(・チャイム) 無線マイクホン 有線マイクホン スピーカ切替装置 <p>(4)操作装置</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓型 非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) 専用出力()W インピーダンス(L形) 設置場所(・屋内)
19. 誘導支援設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声誘導装置 インターホン トイレ等呼出装置 <p>(2)音声誘導装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 検出方式(・磁気式) 設置場所(・屋内) 機能(・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する) 機器(・制御装置) 制御装置(・壁掛型) 送信機(・壁掛型) 受信機(・スピーカー) <p>(3)インターホン</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途(・内部受付用) 機能(・音声通話) 通話機(・親子式) 通話方式(・同時通話式) 機器(・親機) 親機 <ul style="list-style-type: none"> 形状(・壁掛型) 送受話器(・電話機形) 子機 <ul style="list-style-type: none"> 形状(・壁掛型) 送受話器(・電話機形) <p>(4)トイレ等呼出装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途(・トイレ呼出) 機器(・親機) 親機(・壁掛型) 呼出スイッチ(・押しボタン式) 警報装置(・光)
20. テレビ共同受信設備	<p>(1)受信放送</p> <ul style="list-style-type: none"> UHF BS CS FM CATV <p>(2)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 増幅器 混合器 分波器 分岐器 分配器 機器収容箱 アンテナ <p>(3)アンテナ</p> <ol style="list-style-type: none"> 放送(・地上波用) マスト(・衛星用) 自立用基礎(・本工事)
21. テレビ電波障害防除設備	<p>(1)対象戸数</p> <p>(2)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 増幅器 混合器 分波器 分岐器 分配器 機器収容箱 アンテナ <p>(3)アンテナ</p> <ol style="list-style-type: none"> 放送(・地上波用) マスト(・衛星用) 自立用基礎(・本工事)
22. 監視カメラ設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ モニター装置 録画装置 ハウジング 旋回装置 <p>(2)伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> アナログ伝送方式 ネットワーク伝送方式 <p>(3)カメラ</p> <ol style="list-style-type: none"> 色方式(・白黒) 駆動方式(・固定式) 撮影条件(・昼間) 設置場所(・屋内) <p>(4)モニター装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 色方式(・白黒) モニター 設置(・自立型) <p>(5)録画装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 記憶媒体(・デジタル記憶媒体とする) 記憶容量() 時刻補正機能(・FM放送受信)

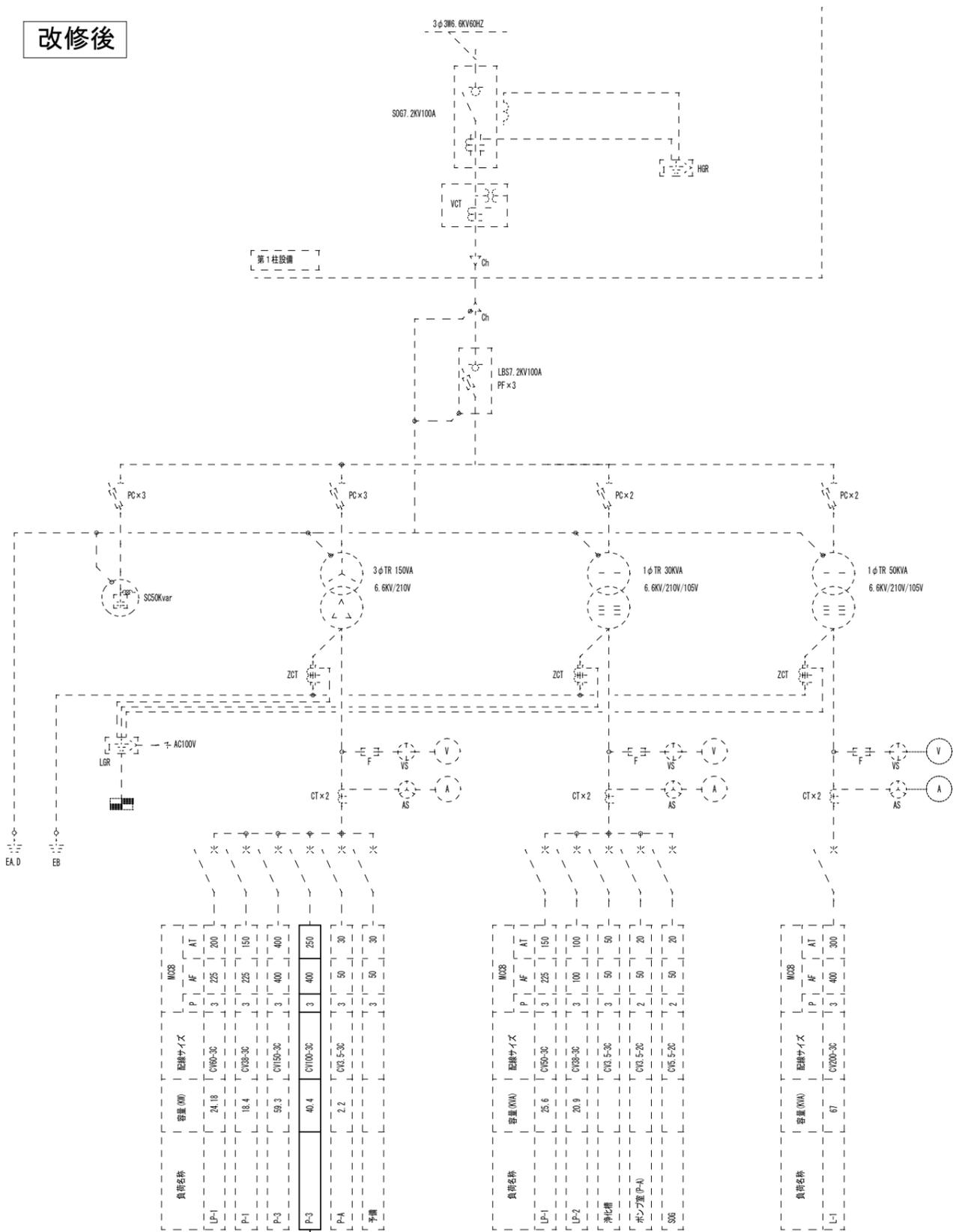
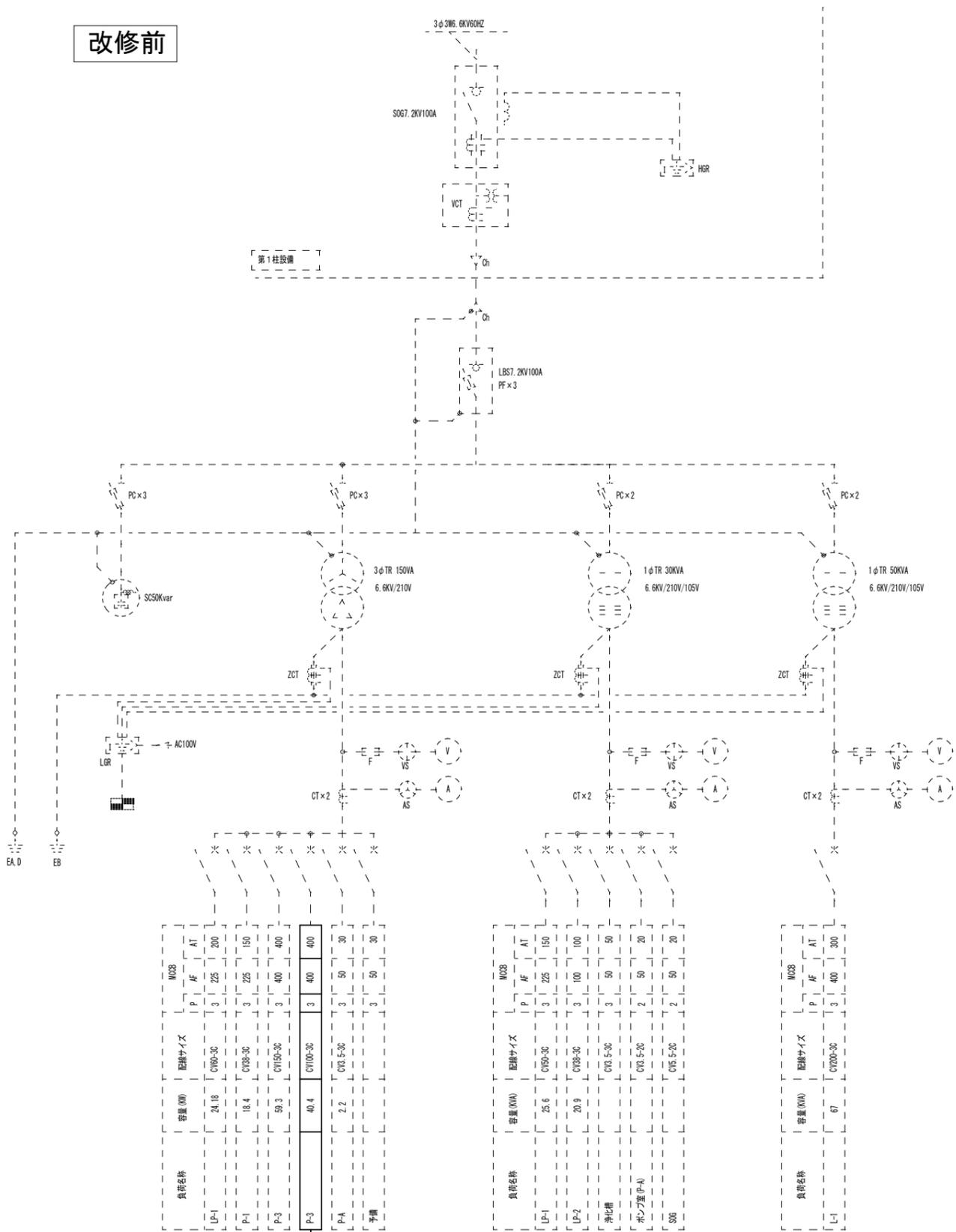
23. 駐車管理設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 管制機 検知器 信号機 警報機 カーゲート カードリーダー <p>(2)管制機</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能(・入場管理) 方式(・赤外線式) 検出対象車両(・四輪自動車以上) 検出対象速度(・2~40km/h) <p>(3)検知器</p> <ul style="list-style-type: none"> 方式(・赤外線式) 検出対象車両(・四輪自動車以上) 検出対象速度(・2~40km/h) <p>(4)信号機・警報機</p> <ul style="list-style-type: none"> 方式(・発光ダイオード式) 警報音(・音響) 外箱(・ステンレス製) <p>(5)発券機</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行券(・磁気式) 発行方式(・入場券発行) <p>(6)カーゲート</p> <ul style="list-style-type: none"> 方式(・ガラスファイバー製) 材質(・アルミ製)
24. 防犯・入退室管理設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯装置 入退室管理装置 <p>(2)防犯装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器(・センサ) センサ(・パッシブセンサ) 制御装置(・形式) 機能(・警戒) <p>(3)入退室管理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器(・制御装置) 制御装置(・形式) 認識部(・バイオメトリクス) セキュリティゲート
25. 自動火災報知設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信機 副受信機(表示装置) 中継器 発信機 感知器 <p>(2)受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式(・P型) 回線数() 試験機能(・自動試験機能) 警報音(・音響) <p>(3)副受信機(表示装置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 警報音(・音響) 試験機能(・自動試験機能) 警報音(・音響) <p>(4)中継器</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験機能(・自動試験機能) <p>(5)発信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式(・アドレス付) 消火栓ポンプ起動 設置(・単独設置) <p>(6)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式(・アドレス付) 種類(・熱感知器) 試験機能(・自動試験機能) 設置場所(・屋内)
26. 自動閉鎖設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動制御器 感知器 自動閉鎖装置 自動閉鎖装置 <p>(2)運動制御器</p> <ol style="list-style-type: none"> 制御対象(・防火戸) 回線数() 設置(・単独) <p>(3)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式(・アドレス付) 種類(・熱感知器) 試験機能(・自動試験機能) 設置場所(・屋内) <p>(4)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式(・電気式) 施工(・本工事) <p>(5)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式(・電気式) 施工(・本工事)
27. 非常警報設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常放送装置 非常ベル <p>(2)非常放送装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 消防法基準適合マーク品とする 機器(・増幅器) 増幅器 <ul style="list-style-type: none"> 出力()W 出力インピーダンス(L形) 形式(・ロングラック型) 機能(・マイク放送) スピーカ <ul style="list-style-type: none"> 用途(・拡声設備兼用) 出力()W インピーダンス(L形) 設置場所(・屋内) 用途(・拡声設備兼用) <p>(3)非常ベル(自動式サイレンを含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 動作(・単独) 定格電圧(・AC100V) ガス検知出力信号(・有電圧出力方式)
28. ガス漏れ火災警報設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信機 副受信機 中継器 検知器 警報器 <p>(2)受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 回線数() 種類(・都市ガス用) 設置(・単独) <p>(3)副受信機</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置(・単独) <p>(4)検知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 動作(・単独) 定格電圧(・AC100V) ガス検知出力信号(・有電圧出力方式)

【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 <p>(2)既設との取り扱い</p> <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 <p>(4)機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式(・壁掛型) 設置(・単独) <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式(・壁掛型) 設置(・単独) <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式(・壁掛型) 設置(・単独)
【医療関係設備】	<p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p>
【ナースコール設備】	<p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本形ナースコール装置 携帯形ナースコール装置 情報表示形ナースコール装置 病床ユニット <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p>
【構内配電線路】	<p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配電方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋) 架空線式(・直接) 建築物等露架式(・露出配管) <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工(・本工事) 電柱(・コンクリート柱) 支持材料(・鋼管) 架線材料(・有電圧仕掛) 架線 <p>(3)架柱機器(高圧用)</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器(・開閉器) 耐環境性(・一般用) 開閉器(仕様は5.受変電設備(6)負荷開閉器による) <p>(4)架柱機器(低圧用)</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器(・開閉器) 耐環境性(・一般用) <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式(・ブロック式) 施工(・本工事) ケーブル支持金物の取付(・2箇所) <p>(6)鉄線蓋</p> <ol style="list-style-type: none"> 鉄線蓋の刻印は「電気」又は「高圧」とする 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類(・FEP) 標示処理(・厚膜電線管) 埋設保護シート(・2倍長) 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする
【構内通信線路】	<p>33. 構内通信線路</p> <p>(1)用途</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話用 拡声用 時刻表示用 火災報知用 非常警報用 インターホン用 テレビ共同受信用 防犯用 制御用 <p>(2)配電方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋) 建築物等露架式(・露出配管) <p>(3)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工(・本工事) 電柱(・コンクリート柱) 支持材料(・鋼管) 架線材料(・有電圧仕掛) 架線 <p>(4)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式(・ブロック式) 施工(・本工事) ケーブル支持金物の取付(・2箇所) <p>(5)鉄線蓋</p> <ol style="list-style-type: none"> 鉄線蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする
【その他】	<p>34. 消火器</p> <ol style="list-style-type: none"> 設置(・本工事) 消火器(・種類) 消火器収納箱(・材質)

III. 機器標準取付高さ	<p>標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(○印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>側 点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下~下端</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上~窓中心</td> <td>1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電灯</td> <td>分電盤</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300 ○1,000mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント(一般)</td> <td>床下~中心</td> <td>300 ○400mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント(和室)</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>コンセント(台所)</td> <td>床下~中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>コンセント(WP)</td> <td>床下~中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント(地下)</td> <td>床下~中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント(土間)</td> <td>床下~中心</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>ブラケット(一般)</td> <td>床下~中心</td> <td>2,100~2,300</td> </tr> <tr> <td>ブラケット(鏡上)</td> <td>鏡上端~中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">動力</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電話</td> <td>操作スイッチ</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>端子盤</td> <td>床下~下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>保安警盤</td> <td>床下~中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下~中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス(和室)</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>壁掛型電話機</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300 2,500mm</td> </tr> <tr> <td>アッテネータ</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示器</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">表示</td> <td>壁付発信器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">インターホン</td> <td>壁付インターホン</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下~中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">テレビ</td> <td>壁位置ボックス(和室)</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>子機(身障者用)</td> <td>床下~中心</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>呼出しボタン(身障者用)</td> <td>床下~中心</td> <td>800~950 便座先端から後方へ100~200mm 2倍目(高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td>表示灯(身障者用)</td> <td>床下~中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">火災報知</td> <td>機器収容箱</td> <td>床下~中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>直列ユニット</td> <td>床下~中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>直列ユニット(和室)</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">その他</td> <td>発信器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床下~中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>ベル</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針(最終改正 平成21年国土交通省令第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等(平成25年4月 三重県)</p>	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床下~下端		取引用計器	地上~窓中心	1,800~2,000	引込開閉器	床下~中心	1,800~2,000	電灯	分電盤	床下~中心	1,500 上端1,900mm	スイッチ	床下~中心	1,300 ○1,000mm	コンセント(一般)	床下~中心	300 ○400mm	コンセント(和室)	床下~中心	200	コンセント(台所)	床下~中心	150	コンセント(WP)	床下~中心	1,000	コンセント(地下)	床下~中心	1,000	コンセント(土間)	床下~中心	500	ブラケット(一般)	床下~中心	2,100~2,300	ブラケット(鏡上)	鏡上端~中心	150	動力	壁掛型制御盤	床下~中心	1,500 上端1,900mm	手元開閉器	床下~中心	1,500	電話	操作スイッチ	床下~中心	1,300	端子盤	床下~下端	300	保安警盤	床下~中心	2,000	壁位置ボックス	床下~中心	300	壁位置ボックス(和室)	床下~中心	200	壁掛型電話機	床下~中心	1,500 上端1,900mm	子時計	床下~中心	2,300	壁掛型スピーカ	床下~中心	2,300 2,500mm	アッテネータ	床下~中心	1,300	表示器	床下~中心	2,300	表示	壁付発信器	床下~中心	1,300	ベル・ブザー・チャイム	床下~中心	2,300	インターホン	壁付インターホン	床下~中心	1,300	壁位置ボックス	床下~中心	300	テレビ	壁位置ボックス(和室)	床下~中心	200	子機(身障者用)	床下~中心	1,100	呼出しボタン(身障者用)	床下~中心	800~950 便座先端から後方へ100~200mm 2倍目(高700mm、便座先端から前方400mm)	表示灯(身障者用)	床下~中心	1,800	火災報知	機器収容箱	床下~中心	2,000	直列ユニット	床下~中心	300	直列ユニット(和室)	床下~中心	200	受信機・副受信機	床下~中心	1,500	その他	発信器	床下~中心	1,300	表示灯	床下~中心	1,800	ベル	床下~中心	2,300
名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																																			
電力	接地端子盤	床下~下端																																																																																																																																				
	取引用計器	地上~窓中心	1,800~2,000																																																																																																																																			
	引込開閉器	床下~中心	1,800~2,000																																																																																																																																			
電灯	分電盤	床下~中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																			
	スイッチ	床下~中心	1,300 ○1,000mm																																																																																																																																			
	コンセント(一般)	床下~中心	300 ○400mm																																																																																																																																			
	コンセント(和室)	床下~中心	200																																																																																																																																			
	コンセント(台所)	床下~中心	150																																																																																																																																			
	コンセント(WP)	床下~中心	1,000																																																																																																																																			
	コンセント(地下)	床下~中心	1,000																																																																																																																																			
	コンセント(土間)	床下~中心	500																																																																																																																																			
	ブラケット(一般)	床下~中心	2,100~2,300																																																																																																																																			
	ブラケット(鏡上)	鏡上端~中心	150																																																																																																																																			
動力	壁掛型制御盤	床下~中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																			
	手元開閉器	床下~中心	1,500																																																																																																																																			
電話	操作スイッチ	床下~中心	1,300																																																																																																																																			
	端子盤	床下~下端	300																																																																																																																																			
	保安警盤	床下~中心	2,000																																																																																																																																			
	壁位置ボックス	床下~中心	300																																																																																																																																			
	壁位置ボックス(和室)	床下~中心	200																																																																																																																																			
	壁掛型電話機	床下~中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																			
	子時計	床下~中心	2,300																																																																																																																																			
	壁掛型スピーカ	床下~中心	2,300 2,500mm																																																																																																																																			
	アッテネータ	床下~中心	1,300																																																																																																																																			
	表示器	床下~中心	2,300																																																																																																																																			
表示	壁付発信器	床下~中心	1,300																																																																																																																																			
	ベル・ブザー・チャイム	床下~中心	2,300																																																																																																																																			
インターホン	壁付インターホン	床下~中心	1,300																																																																																																																																			
	壁位置ボックス	床下~中心	300																																																																																																																																			
テレビ	壁位置ボックス(和室)	床下~中心	200																																																																																																																																			
	子機(身障者用)	床下~中心	1,100																																																																																																																																			
	呼出しボタン(身障者用)	床下~中心	800~950 便座先端から後方へ100~200mm 2倍目(高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																																			
	表示灯(身障者用)	床下~中心	1,800																																																																																																																																			
火災報知	機器収容箱	床下~中心	2,000																																																																																																																																			
	直列ユニット	床下~中心	300																																																																																																																																			
	直列ユニット(和室)	床下~中心	200																																																																																																																																			
	受信機・副受信機	床下~中心	1,500																																																																																																																																			
その他	発信器	床下~中心	1,300																																																																																																																																			
	表示灯	床下~中心	1,800																																																																																																																																			
	ベル	床下~中心	2,300																																																																																																																																			

改修前

改修後



負荷名称	容量(kVA)	配線サイズ	MOB
LP-1	24.18	φ160-30	P AF AT 3 225 200
LP-1	18.4	φ130-30	P AF AT 3 225 150
LP-2	59.3	φ150-30	P AF AT 3 400 400
P-3	40.4	φ100-30	P AF AT 3 400 400
P-A	2.2	φ1.5-30	P AF AT 3 50 30
予備			P AF AT 3 50 50

負荷名称	容量(kVA)	配線サイズ	MOB
LP-1	25.6	φ150-30	P AF AT 3 225 150
LP-2	20.9	φ130-30	P AF AT 3 100 100
浄化槽		φ1.5-30	P AF AT 3 50 50
ポンプ室(P-A)		φ1.5-20	P AF AT 2 50 20
SS		φ1.5-20	P AF AT 2 50 20

負荷名称	容量(kVA)	配線サイズ	MOB
L-1	67	φ200-30	P AF AT 3 400 300

負荷名称	容量(kVA)	配線サイズ	MOB
LP-1	24.18	φ160-30	P AF AT 3 225 200
LP-1	18.4	φ130-30	P AF AT 3 225 150
LP-2	59.3	φ150-30	P AF AT 3 400 400
P-3	40.4	φ100-30	P AF AT 3 400 250
P-A	2.2	φ1.5-30	P AF AT 3 50 30
予備			P AF AT 3 50 50

負荷名称	容量(kVA)	配線サイズ	MOB
LP-1	25.6	φ150-30	P AF AT 3 225 150
LP-2	20.9	φ130-30	P AF AT 3 100 100
浄化槽		φ1.5-30	P AF AT 3 50 50
ポンプ室(P-A)		φ1.5-20	P AF AT 2 50 20
SS		φ1.5-20	P AF AT 2 50 20

負荷名称	容量(kVA)	配線サイズ	MOB
L-1	67	φ200-30	P AF AT 3 400 300

MCB3P400/400を撤去及び
既設ケーブルの取り外しを行う

撤去跡にMCB3P400/250を新設し
既設ケーブルの接続を行う

既設キュービクル 単線結線図 屋外型 ※点線にて記入のものは既設のままを示す

既設キュービクル 単線結線図 屋外型 ※点線にて記入のものは既設のままを示す

TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

DRAWING TITLE 受変電設備 単線結線図 (改修前・改修後)

SCALE

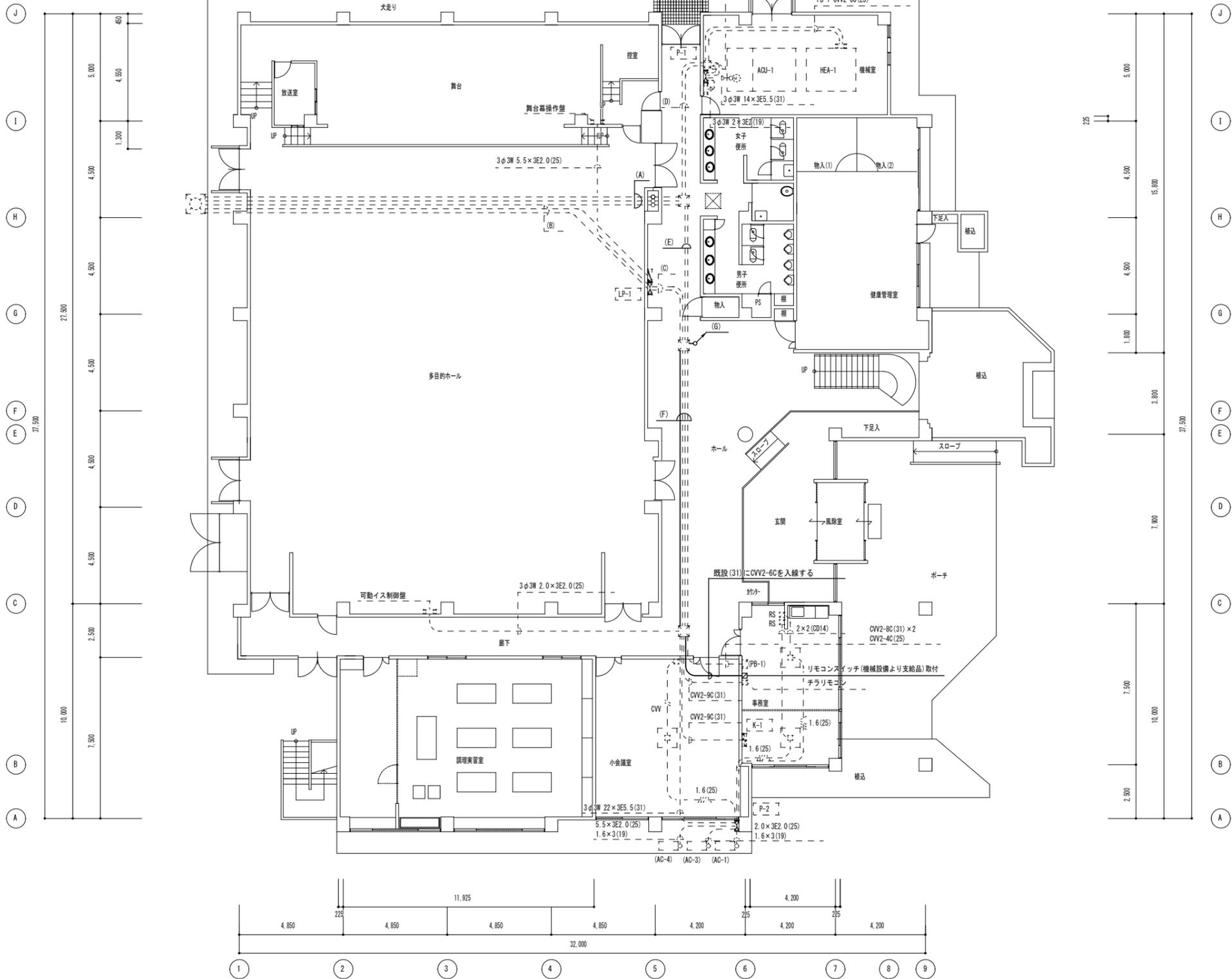
一級建築士事務所 山本一級建築士事務所
三重県登録第1-753号
三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779
三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397

設計者 一級建築士 山本 寛康

No. E-04

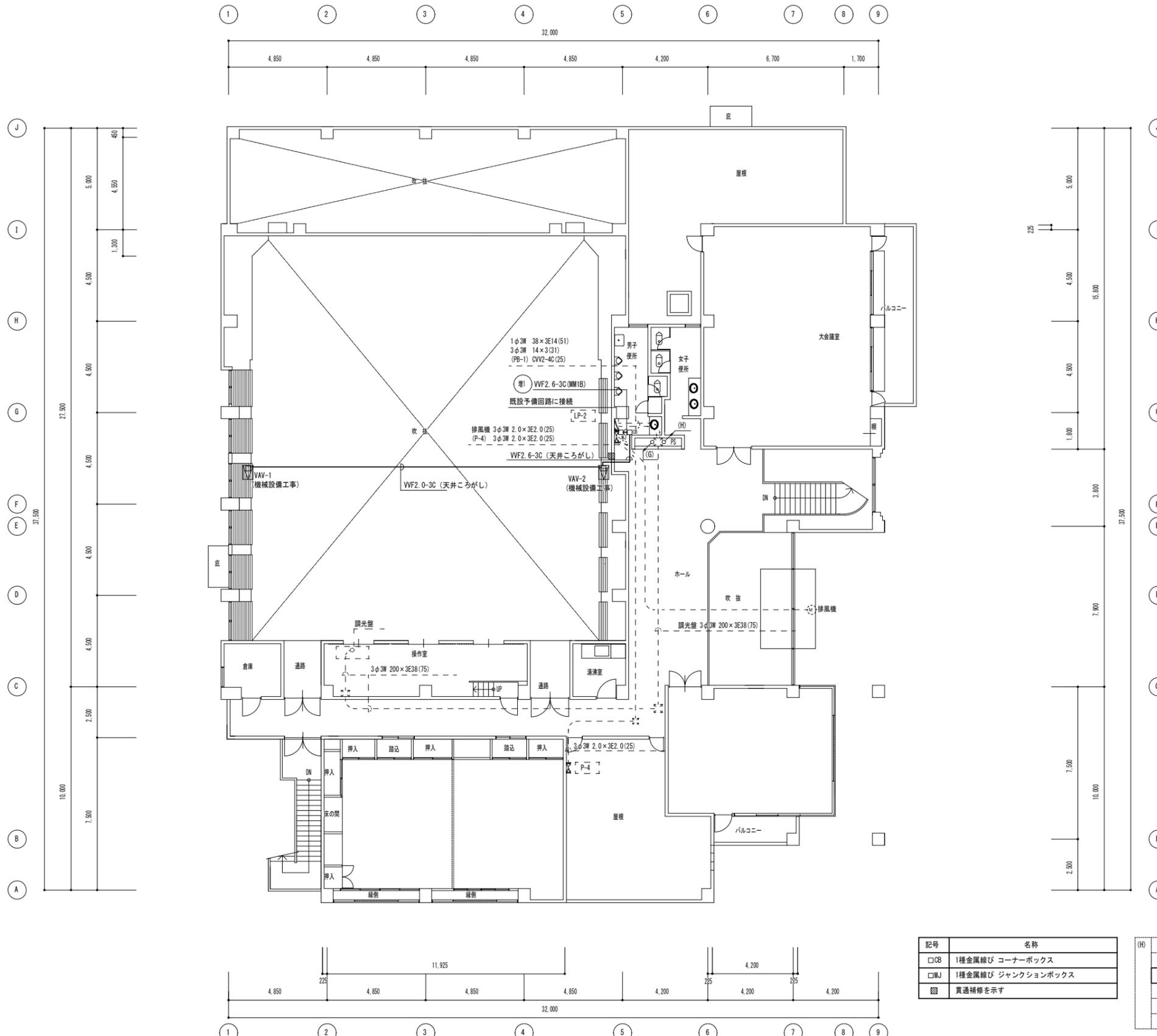
(A)	(P-1)	3φ3W	CV38-3C(H154)
	(P-2)	3φ3W	CV150-3C(H170)
	(P-3)	3φ3W	CV100-3C(H170)
	調光盤	1φ3W	CV200-3C(H182)
	(LP-2)	1φ3W	CV38-3C(H142)
	高架水槽	CV2-5C(H122)	
	(K-1)	CV2-7C(H128)	
	(K-1)	CV2-2C(H122)	
	ED	50×1(VE22)	
	予備	C(H154)×2	
(B)	(LP-1)	1φ3W	CV50-3C(H154)
	(LP-1)	3φ3W	CV60-3CE38(H170)
(C)	可動イス	3φ3W	2.0×3(19)
	(P-2)	3φ3W	22×3E14(39)
	(LP-2)	3φ3W	14×3(31)
(D)	(P-1)	3φ3W	38×3E5.5(51)
	(PB-1)	CV2-8C(31)	
(E)	(P-3)	3φ3W	150×3(75)
	(P-3)	3φ3W	100×3(63)
	調光盤	1φ3W	200×3(75)
	(LP-2)	1φ3W	38×3(39)
	高架水槽	CV2-5C(25)	
	(K-1)	CV2-9C(31)	
	(PB-1)	CV2-8C(31)	
	ED	50×1(25)	
(F)	可動イス	3φ3W	2.0×3(19)
	(P-2)	3φ3W	22×3E14(39)
	チャリモコン	既設(31)にCV2-6Cを入線する	
	チャリモコン	CV2-9C(31)	
	(PB-1)	CV2-9C(31)×2	
	(PB-1)	CV2-4C(25)	
	(K-1)	CV2-9C(31)	
(G)	(LP-2)	1φ3W	38×3(39)
	(LP-2)	3φ3W	14×3(31)
	(P-3)	3φ3W	150×3E38(75)
	(P-3)	3φ3W	100×3(63)
	チャリモコン	既設(31)にCV2-6Cを入線する	
	チャリモコン	CV2-9C(31)	
	(PB-1)	CV2-4C(25)	
	(PB-1)	CV2-8C(31)	
	高架水槽	CV2-5C(25)	
	調光盤	1φ3W	200×3(75)

★ 改修を示す
※図中点線にて記入のものは既設を示し再使用を行う



1階平面図 S=1/150

TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事	DRAWING TITLE 電気設備 1階平面図 (改修後)	SCALE 1/150	一級建築士事務所 三重県登録第1-753号 山本一級建築士事務所 三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779 三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397	設計者 一級建築士 第317991号 山本 寛康	No. E-05
---------------------------------------	-----------------------------------	----------------	--	-----------------------------------	-------------



2階平面図 S=1/150

記号	名称
□CB	1種金属線び コーナーボックス
□MJ	1種金属線び ジャンクションボックス
⊞	貫通補修を示す

(H)	(P-3)	3φ3W	150×3E38(75)
	(P-3)	3φ3W	100×3(63)
	チラリモコン	既設(31)にCV2-6Cを入線する	★
	チラリモコン	CV2-9C(31)	
	(PB-1)	CV2-8C(31)	
	高菜水槽	CV2-5C(25)	

TITLE
津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事

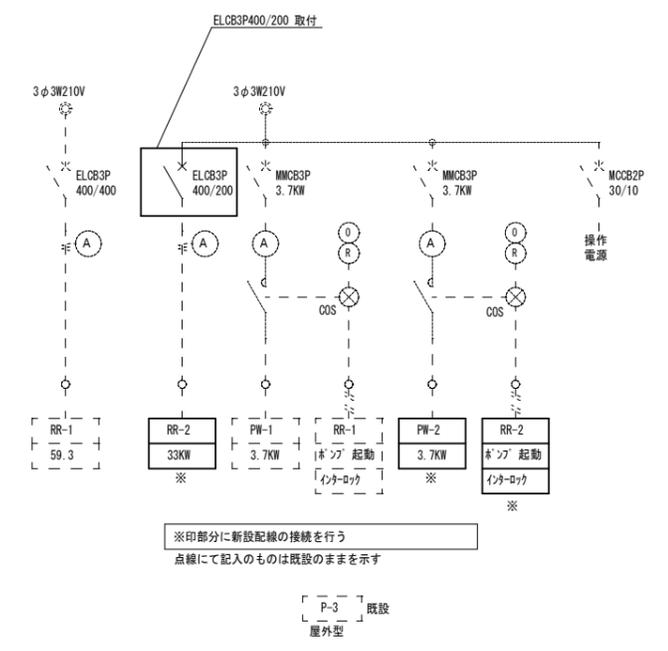
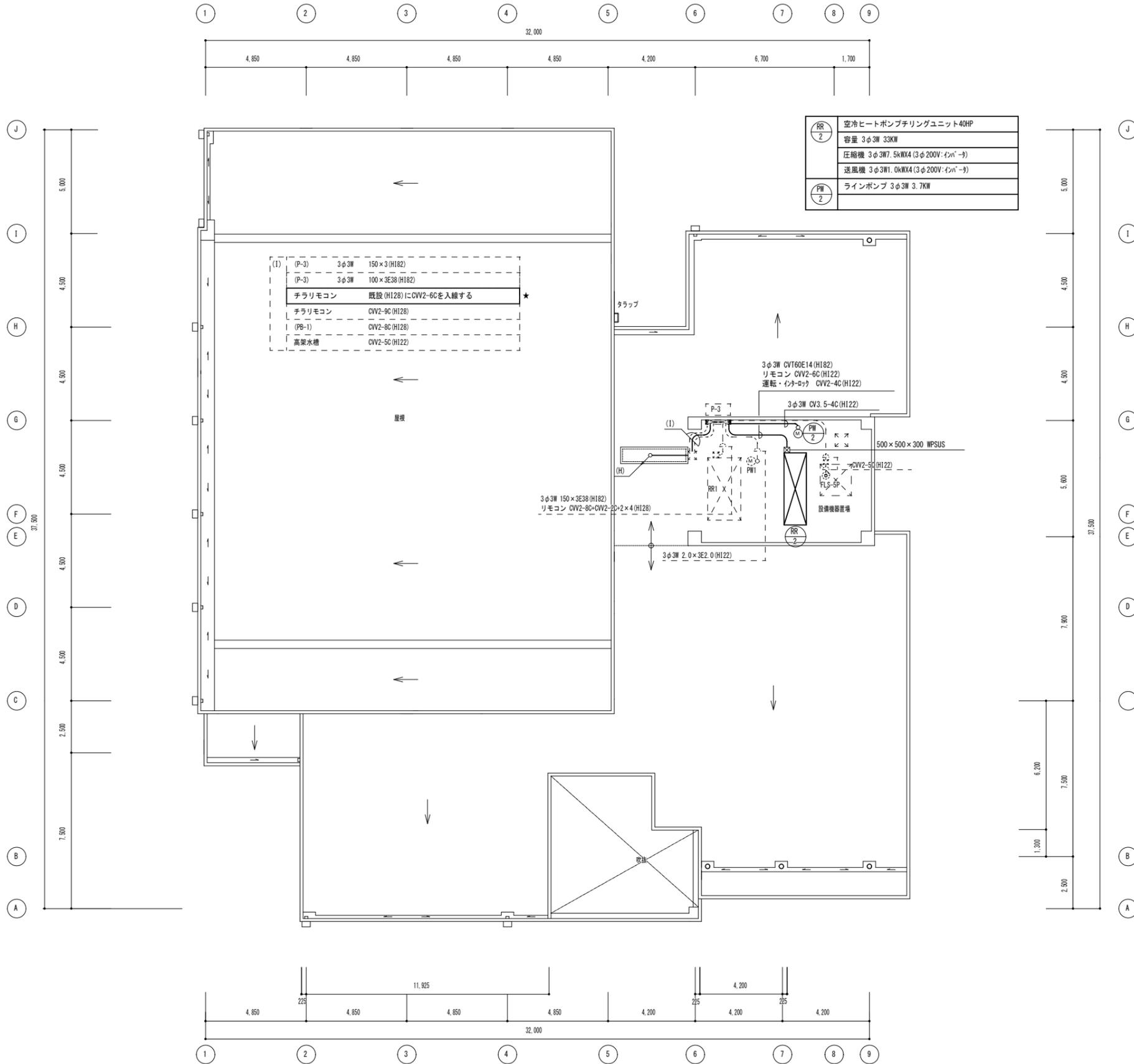
DRAWING TITLE
電気設備 2階平面図 (改修後)

SCALE
1/150

一級建築士事務所
三重県登録第1-753号
山本一級建築士事務所
三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779
三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397

設計者
一級建築士
第317991号
山本 覚康

No.
E-06
原図:A2

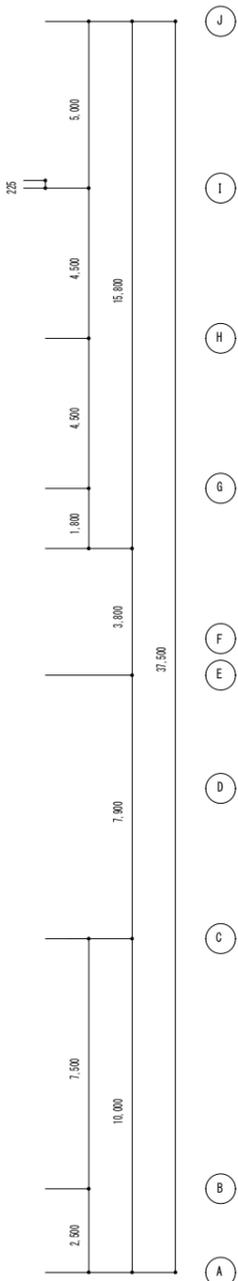
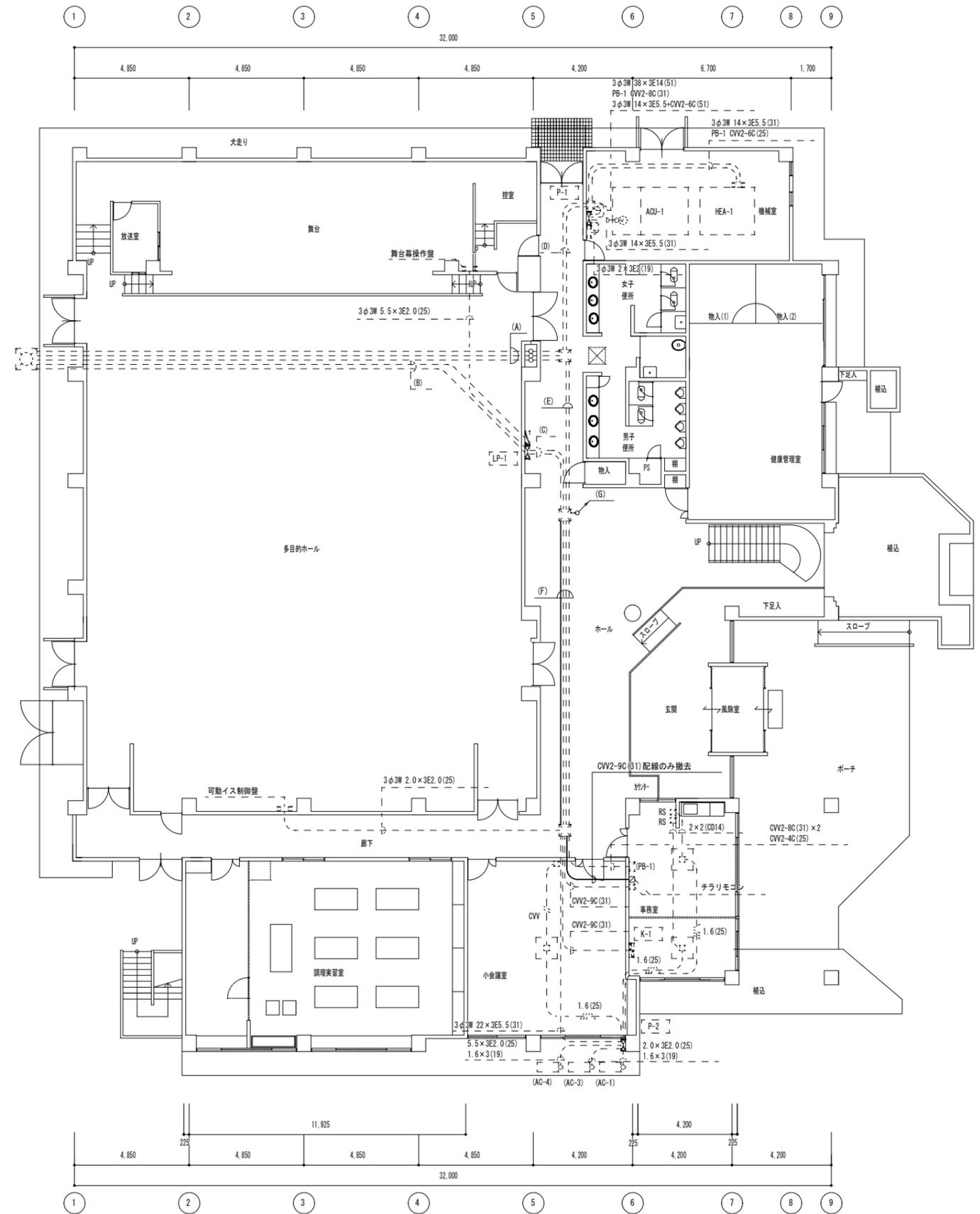
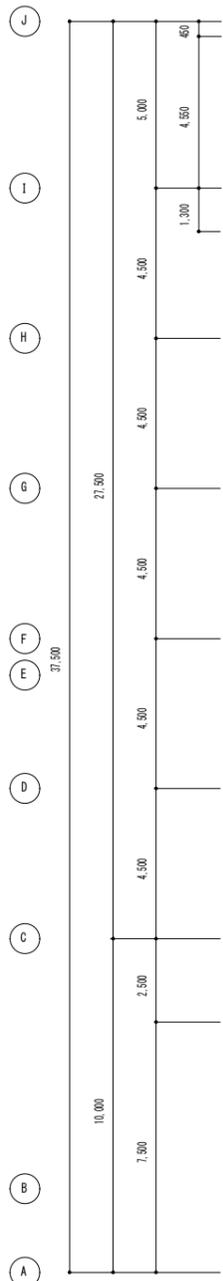


屋上平面図 S=1/150

<p>TITLE</p> <p>津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事</p>	<p>DRAWING TITLE</p> <p>電気設備 屋上平面図 (改修後)</p>	<p>SCALE</p> <p>1/150</p>	<p>一級建築士事務所 山本一級建築士事務所</p> <p>三重県登録第1-753号</p> <p>三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779</p> <p>三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397</p>	<p>設計者</p> <p>一級建築士 山本 寛康</p>	<p>No.</p> <p>E-07</p> <p>原図:A2</p>
--	--	---------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------------

(A)	(P-1)	3φ3W	CV38-3C (H154)
(A)	(P-3)	3φ3W	CV150-3C (H170)
(A)	(P-3)	3φ3W	CV100-3C (H170)
(A)	調光盤	1φ3W	CV200-3C (H182)
(A)	(LP-2)	1φ3W	CV38-3C (H142)
(A)	高架水槽		CVV2-5C (H122)
(A)	(K-1)		CVV2-7C (H128)
(A)	(K-1)		CVV2-2C (H122)
(A)	ED		50×1 (VE22)
(A)	予備		C (H154) × 2
(B)	(LP-1)	1φ3W	CV50-3C (H154)
(B)	(LP-1)	3φ3W	CV60-3E38 (H170)
(C)	可動イス	3φ3W	2.0×3 (19)
(C)	(P-2)	3φ3W	22×3E14 (39)
(C)	(LP-2)	3φ3W	14×3 (31)
(D)	(P-1)		38×3E5.5 (51)
(D)	(PB-1)		CVV2-6C (31)
(E)	(P-3)	3φ3W	150×3 (75)
(E)	(P-3)	3φ3W	100×3 (63)
(E)	調光盤	1φ3W	200×3 (75)
(E)	(LP-2)	1φ3W	38×3 (39)
(E)	高架水槽		CVV2-5C (25)
(E)	(K-1)		CVV2-9C (31)
(E)	(PB-1)		CVV2-6C (31)
(E)	ED		50×1 (25)
(F)	可動イス	3φ3W	2.0×3 (19)
(F)	(P-2)	3φ3W	22×3E14 (39)
(G)	チャリモコン		CVV2-9C (31) 配線のみ撤去
(G)	チャリモコン		CVV2-9C (31)
(G)	(PB-1)		CVV2-6C (31) × 2
(G)	(PB-1)		CVV2-4C (25)
(G)	(K-1)		CVV2-9C (31)
(G)	(LP-2)	1φ3W	38×3 (39)
(G)	(LP-2)	3φ3W	14×3 (31)
(G)	(P-3)	3φ3W	150×3E38 (75)
(G)	(P-3)	3φ3W	100×3 (63)
(G)	チャリモコン		CVV2-9C (31) 配線のみ撤去
(G)	チャリモコン		CVV2-9C (31)
(G)	(PB-1)		CVV2-4C (25)
(G)	(PB-1)		CVV2-6C (31)
(G)	高架水槽		CVV2-5C (25)
(G)	調光盤	1φ3W	200×3 (75)

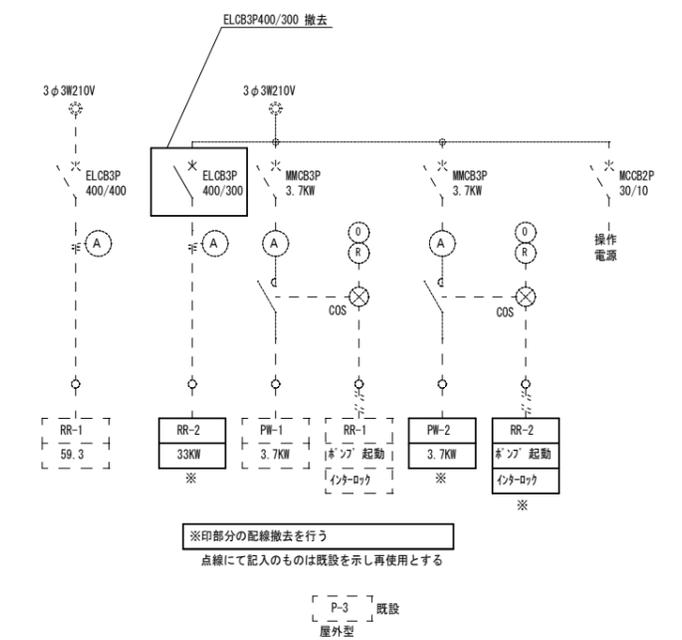
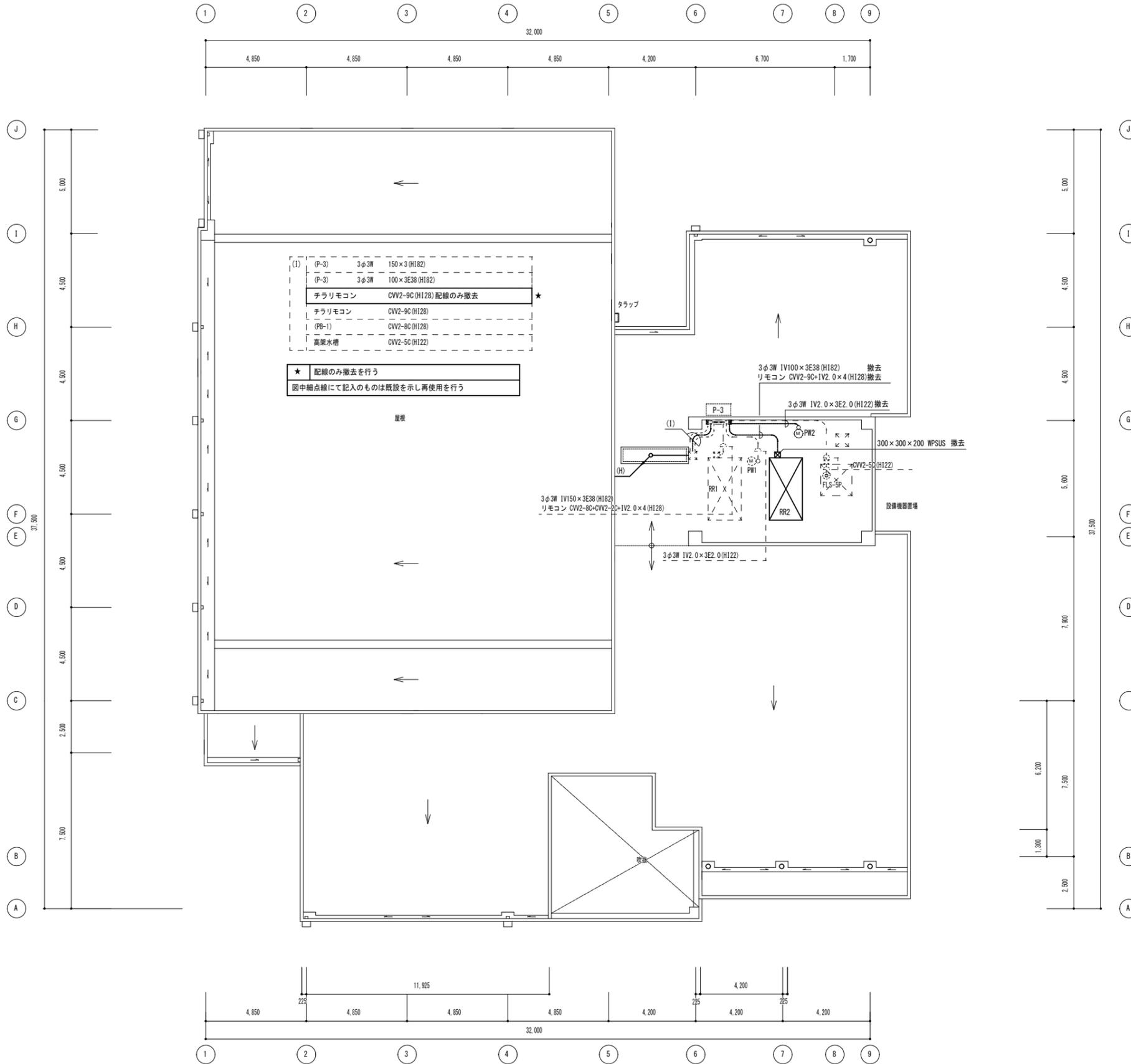
★ 配線のみ撤去を行う
 図中細点線にて記入のものは既設を示し再使用を行う



1階平面図 S=1/150

TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事	DRAWING TITLE 電気設備 1階平面図 (改修前)	SCALE 1/150	設計者 一級建築士事務所 山本 寛康	No. E-08
---------------------------------------	-----------------------------------	----------------	--------------------------	-------------

原図:A2



屋上平面図 S=1/150

TITLE 津市一志農村環境改善センター多目的ホール空調設備改修工事	DRAWING TITLE 電気設備 屋上平面図 (改修前)	SCALE 1/150	一級建築士事務所 山本一級建築士事務所 三重県登録第1-753号 三重県津市藤方1457-4 電話<059>(225)0757 FAX<059>(224)1779 三重県津市白山町八対野1170 電話<059>(262)0397 FAX<059>(262)0397	設計者 一級建築士 第317991号 山本 寛康	No. E-10 原図:A2
--	--	-----------------------	---	------------------------------------	-----------------------------